

平成27年度

教 育 要 覧



平成 28 年 1 月 発行

発 行：中野市教育委員会

編 集：中野市教育委員会事務局学校教育課

〒389-2192

長野県中野市大字豊津 2508 番地

電話 0269-38-3112 FAX 0269-38-3117

<http://www.city.nakano.nagano.jp/>

目 次

1	中野市の概要-----	1
2	教育委員会-----	5
3	学校教育-----	21
4	学校給食-----	32
5	生涯学習-----	35
6	公民館-----	50
7	図書館-----	58
8	博物館-----	62

1 中野市の概要

市章



中野の「中」と「の」を組み合わせて、
周囲の山々を図案化したものです。
(平成17年4月1日制定)

中野市プロフィール

平成17年4月1日に中野市と豊田村が合併して誕生した新「中野市」は、長野県の北東部に位置し、県都長野市からは鉄道で約30分から40分で結ばれています。北は飯山市、木島平村、東は山ノ内町、南は長野市、小布施町、高山村、西は飯綱町に接しています。また、北西に斑尾山(1,381.8m)、北東に高社山(1,351.5m)など象徴的な山々を背景として、千曲川がつくる河岸段丘や夜間瀬川が形成した扇状地に集落が広がっています。

面積は、東西約11km、南北約16kmで、合計面積は112.18km²となっています。気温は年間差が大きく、夏季は30℃以上、冬季は-10℃以下となる内陸性気候ですが、北部の雪の多いところでは積雪量2mを越し日本海側の気候の特色を示しています。

産業は農業が盛んで、リンゴやブドウの栽培では全国でも有数の品質と生産量を誇っています。早くからエノキ茸の栽培に取り組み、キノコや果樹、野菜、花きの施設栽培の先進地としても知られています。

■中野市の位置

(中野市役所の位置)

長野県中野市三好町一丁目3番19号

東経／138°22′

北緯／36°44′

標高／366.84m

中野市の位置



音楽が結ぶ姉妹都市

中野市は、作曲家中山晋平の誕生地であることから、音楽を通じ日本の代表的歌曲「荒城の月」の作曲者瀧廉太郎を生んだ大分県竹田市と、同曲作詞者土井晩翠を生んだ宮城県仙台市と昭和42年に音楽姉妹都市提携を結びました。さらに昭和55年、晋平とのコンビでおなじみの野口雨情の生まれた茨城県北茨城市とも姉妹都市提携をしています。これら3市とも音楽が結んだ姉妹都市として、記念行事の表敬訪問などを通じ友好を深めています。

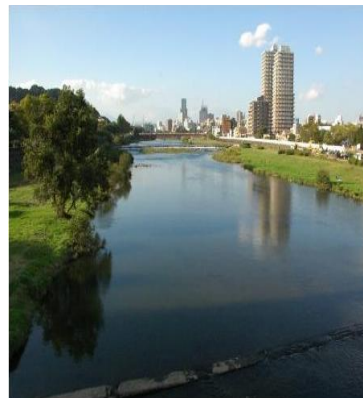


・大分県 竹田市

竹田市は、九州の噴火山阿蘇山の外輪山に端を発する稲葉川、白滝川の清流をのぞむ大分県の中央部竹田盆地にあります。瀧廉太郎作曲「荒城の月」ゆかりの岡城址を擁し、山と水に恵まれた風光明媚なところで、江戸中期南画界の鬼才田能村竹田が生まれています。

明治以降、作曲家瀧廉太郎や彫刻家朝倉文夫など日本の代表的芸術家が育ちました。

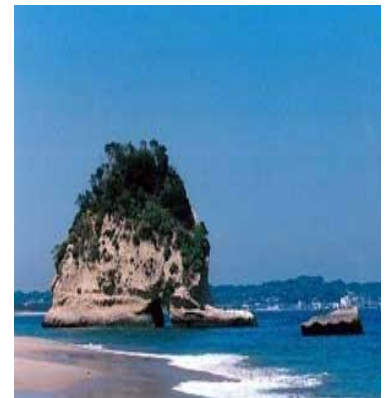
(音楽姉妹都市／昭和42年1月18日提携)



・宮城県 仙台市

「杜の都」ともよばれている仙台市は美しい自然と古い歴史をもったまちです。昔の「千代」を伊達政宗が城を移した時に「仙台」と改めました。開府以来、62万石の城下町として栄え、今では東北随一の近代都市（平成元年4月1日政令指定都市）です。仙台城跡には、仙台の生んだ情熱の詩人土井晩翠の像と「荒城の月」詩碑がひっそりとたつ文化の香り高い都市です。

(音楽姉妹都市／昭和42年1月18日提携)



・茨城県 北茨城市

平潟と大津の二大港をもつ近海・遠洋漁業の町として有名です。

漂泊の詩人野口雨情はこの地の生まれで、晋平とコンビを組み「船頭小唄」をはじめ 200曲ものうたを生み出しています。「中野小唄」の作詞の時には晋平とともに中野を訪れ、苦心の結果「信州広くも中野がなげりゃ……」の新民謡が生まれました。天妃山には雨情自筆の歌碑があります。

(姉妹都市／昭和55年5月29日提携)

友好都市

静岡県磐田市

静岡県磐田郡豊田町は平成17年4月1日に磐田市ほか3町村と合併し新「磐田市」となりました。

旧豊田村と旧豊田町は、同じ「豊田」を名称とする縁で交流が始まりました。平坦で都市型の豊田町と起伏に富み中山間地の豊田村。こうした自然環境や風土が違う町村同士の交流は、両住民のためにも次代を担う子どもたちの将来のためにも意義のあることだという考えの下、平成15年に熊野^{ゆや}伝統芸能館の能舞台上で友好都市提携の調印を行いました。

文化祭等では両町村の特産品販売や作品の展示、子どもたちの交流、りんご狩り交流などを行ってきました。

両町村ともに合併し新市になりましたが、今後も一層の促進交流を図っていきます。



磐田市は日本のほぼ中央、静岡県西部の天竜川東岸に広がる地域であり、遠州灘に面しています。

奈良時代には、遠江国分寺と遠江国府が置かれ、古墳時代の約500基以上の古墳が現存するなど、歴史が語りつがれている“まち”です。江戸時代には、東海道53次見付宿として繁栄するなど、東西交通の要所として発展してきました。

近年では、地場産業である繊維産業に加え、金属、自動車、楽器などの工業都市として、磐田市全体の製造品出荷額等は県下トップクラス、農業産出額も県内屈指で農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名です。都市部と農村部が均衡ある発展を遂げている地域です。

(友好都市／平成15年5月3日提携)

2 教育委員会

中野市の教育施策

-はじめに-

本市では、めざすべき都市像として定めた「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」の実現に向け、7つのまちづくりの柱を掲げた基本構想と基本計画で構成する総合計画を策定し施策を推進しております。

この計画の中では、教育の担う基本目標を「**地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり**」とし、その実現をめざして各種の事業に取り組んでおります。

-施策の大綱-

「地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり」

2007年度を初年度とし、2016年度を目標年次とする10か年の構想とします。

(1) 心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育

① 小・中学校教育の充実

子どもを取り巻く社会環境が変化するなかで、学力の基礎・基本の定着と幅広い問題に対応できる能力を育成し、家庭や地域と連携を図りながら、ふるさとを愛し心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育が求められています。

また、安全・安心な学校づくり、各学校の創意工夫による特色ある学校づくりを一層推進することが重要な課題となっています。

さらに、教育施設、設備については、老朽化に伴う整備、更新を図るとともに、教育内容に応じ充実する必要があります。

ア 学校経営内容の充実

- ・ 一人ひとりに応じた指導を通して、学力の基礎・基本の定着を進めます。
- ・ 各学校に応じた学校教育目標の具現化を図るための特色ある教育を推進します。
- ・ 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自ら学び、自ら考える「生きる力」を育成します。
- ・ 高度情報化に対応した情報活用能力を身につけるための情報教育を推進します。

- ・ 異文化理解の向上を図るため、児童生徒の国際教育を推進します。
- ・ 障害のある児童生徒への理解を深め、自立と社会参加を図るため、就学指導や教育相談を綿密に行い、一人ひとりに応じた教育内容を充実します。
- ・ 地域との連携を強化し、学校評議員制度等の活用を図り地域に開かれた学校づくりを推進します。

イ 心の教育の充実

- ・ 学校、地域、行政が連携し、発達段階に応じた生活体験を通して他人を思いやる心豊かな人間性を育てる教育を推進します。
- ・ 地域を知り、地域を愛し、地域を誇りに思う心を育てる教育を推進します。
- ・ いじめや不登校等の相談体制を充実するとともに、中間教室の運営等により児童生徒の自立に向けた支援を進めます。

ウ 教育環境の整備

- ・ 小・中学校の適正な規模について、さらに検討を進めます。
- ・ 快適で安全な学習環境を維持するため校舎等の改修や修繕を計画的に進めます。
- ・ 総合的な学習や情報教育など、多様化する教育内容に応じた施設、設備の充実を進めます。

エ 安全の確保

- ・ 児童生徒に防犯ブザーを配付するなど、登下校時等の安全を確保します。
- ・ 通学路のパトロール、登下校時の見守り・声かけなど地域ボランティアによる安全対策を促進します。
- ・ 家庭、地域、学校、関係機関と連携し、防犯・防災等の連絡体制の充実を進めます。

オ 学校保健体育の充実

- ・ 健康診断、健康管理、保健指導を充実し、児童生徒の健やかな育成に努めます。

カ 関連機関との連携強化

- ・ 幼稚園、保育所と小学校・中学校との連携を強化します。

キ 教職員研修の充実

- ・ 教職員の能力開発、指導力の向上をめざした、自主的、自発的な研修を促進します。

② 学校給食の充実

食に対する関心が高まるなか、市内の小・中学校の児童生徒に対し、安心・安全な給食提供に努めています。

また、食育推進計画に基づき、食を通じて豊かな人間性を育み、食を大切にす食育推進に取り組んでいます。

しかし、児童生徒や保護者に対し、望ましい食に関する知識の普及啓発、地元産食材の使用拡大をさらに進める必要があります。

また、給食で使用する食材への理解を深め、食を楽しみ感謝する心が持てる給食にすること

が必要です。

ア 学校給食の充実

- ・ 地元産食材を使った特色ある献立づくりを進めます。
- ・ 栄養バランスや衛生面、安全面に配慮した学校給食の一層の充実に努めます。

イ 食育の推進

- ・ 学校給食主任・栄養教諭・栄養士等による給食指導を通して正しい食習慣の形成を進めます。
- ・ 給食センターからのおたより等による地元産食材の紹介や、生産農業者の皆さん方との交流会を通して食を楽しみ感謝する心が持てる給食を進めます。
- ・ 栄養教諭等による学校給食を通じた健康的な食生活・生活習慣の基礎づくりを進めます。
- ・ 地域にある郷土食を給食として提供し、食文化の継承を進めます

③ 高等学校以上の教育の振興

生徒数の減少や生徒を取り巻く学習環境が大きく変化するなかで、地域に愛され地域ともに歩む特色ある高等学校づくりが求められています。

また、経済的理由により進学意欲のある者が高等教育を受けられないことがないように、支援することが求められています。

ア 地域の高等学校教育の振興

- ・ 市内の高等学校と協働し、魅力ある高校づくりを促進します。
- ・ 中学校と高等学校との連携を深める連絡調整機能を充実します。

イ 就学の奨励

- ・ 奨学基金により、次代を担う意欲のある人材の育成を奨励します。

(2) 学びふれあう社会教育・生涯学習

① 生涯学習機会の提供

社会環境の変化に伴い、ライフスタイル・価値観等も多様化し、生涯学習の果たす役割への期待が高まるなか、多様なニーズに対応した講座等の充実を図り、市民やグループが協働しながら、豊かな地域づくりを進めることが求められています。

このため、市民一人ひとりが自由に学び楽しむ環境づくりと、学習に親しむ機会や、その成果を発表する機会の充実が必要です。

ア 生涯学習を通したまりづくりの推進

- ・ 公民館、図書館、博物館での各種学習、ボランティア活動等を充実します。
- ・ 市が行っている仕事への理解を深めるため、出前講座「まなびい塾」を開催します。
- ・ 公民館活動を通じ、文化祭、芸能祭のほか、市民サークルの発表の機会を充実します。
- ・ 県生涯学習推進センターや他市町村との情報ネットワークを活用し、幅広い学習情報の収集や提供を進めます。
- ・ 公民館と各分館との密接な連携を進め、地域課題を踏まえた公民館活動を充実します。
- ・ 生涯学習推進関係団体が行う自主活動を支援し、組織の育成を図ります。

イ 生涯学習の総合的な推進

- ・ 生涯学習基本構想に基づき、関係機関と連携し、生涯学習を総合的に推進します。
- ・ 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進します。

② 生涯学習施設の充実

市民の学習活動を支える役割を担っている公民館、図書館、博物館等の生涯学習施設には、市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応した設備等の充実が求められています。

生涯学習の場として、各施設の充実が必要です。

ア 生涯学習施設の充実

- ・ 利用者の利便性の向上を図るため、公民館、図書館、博物館の施設の充実を進めます。
- ・ 乳幼児から高齢者、障害のある方などにも利用しやすい図書館にするため、情報システムや図書等の充実を進めます。
- ・ 市の歴史や文化、自然への理解を深めるため、博物館の展示施設や学習施設、プラネタリウムの充実を進めます。

(3) 地域の歴史・文化の保存と活用

① 文化財の保存と活用

先人が築き、守り、伝えてきた文化や歴史、自然は、新たな市民文化創造の基礎として、後世に伝えていく必要があります。しかし、社会の多様な変化に伴い、文化・歴史的遺産や自然は失われつつあります。

このため、貴重な文化・歴史的遺産や自然の保護・保存に努めるとともに、その啓発と活用が必要です。

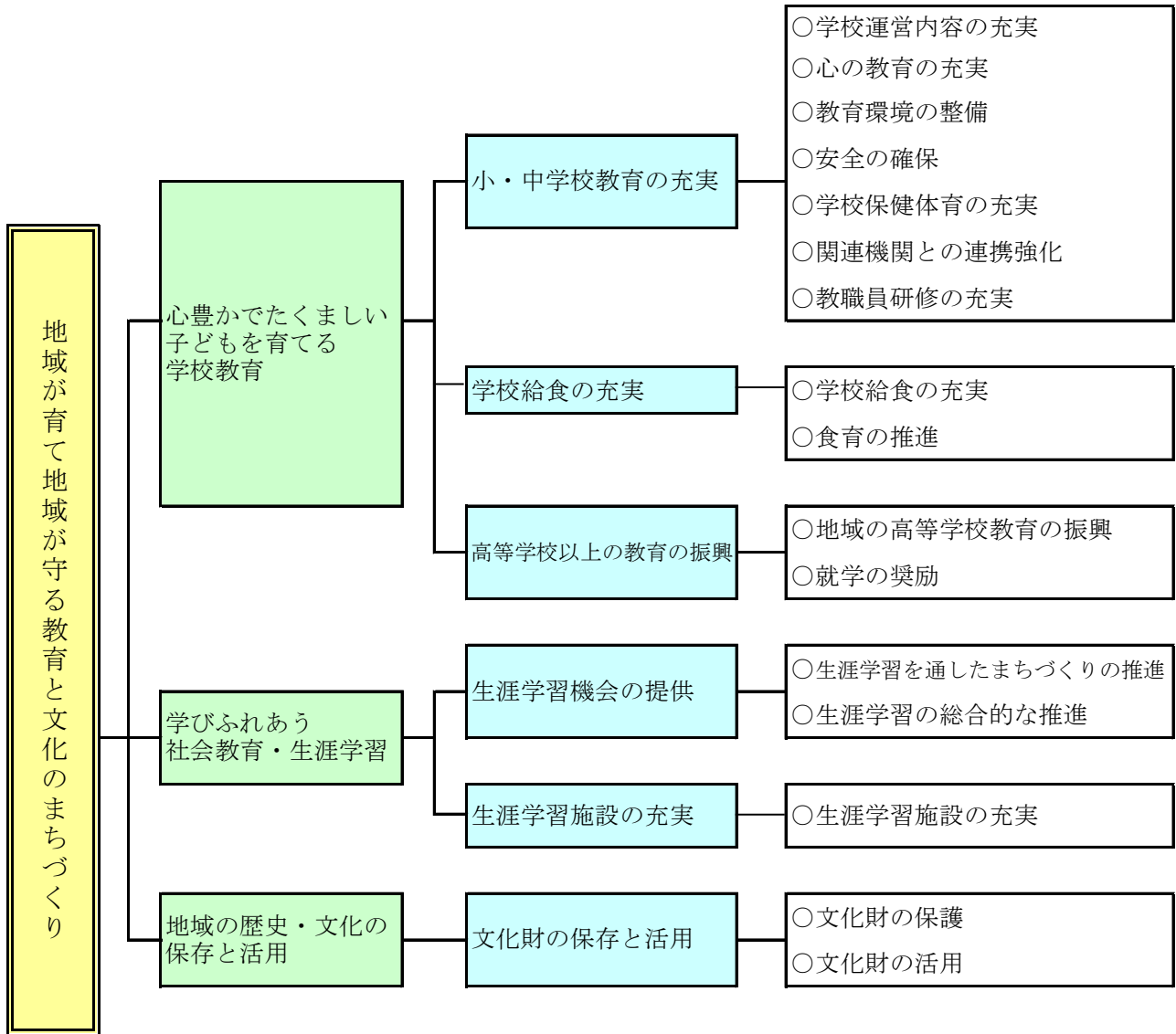
ア 文化財の保護

- ・ 文化財の基礎調査を進め、貴重な文化・歴史的遺産や自然の保護・保存を進めます。
- ・ 指定文化財等の保存・整備を進めます。
- ・ 旧山田邸の資料調査や施設の保存・整備を進めます。

イ 文化財の活用

- ・ 文化財の意義や重要性の啓発に努め、その活用を進めます。

— 施策の体系 —



教 育 委 員 会

-教育委員-

H27. 9. 1現在

氏 名	役職名	任 期	委員就任年月日
長島 克己	委 員 長	H26. 5. 11 ～ H30. 5. 10	H26. 5. 11
青木 幸子	委 員 長 職 務 代 理 者	H25. 5. 11 ～ H29. 5. 10	H25. 5. 11
岡村 博子	委 員	H24. 5. 11 ～ H28. 5. 10	H24. 5. 11
市川 真一	委 員	H27. 6. 24 ～ H31. 6. 23	H27. 6. 24
小嶋 隆徳	教 育 長	H25. 5. 11 ～ H29. 5. 10	H25. 4. 1

-社会教育委員-

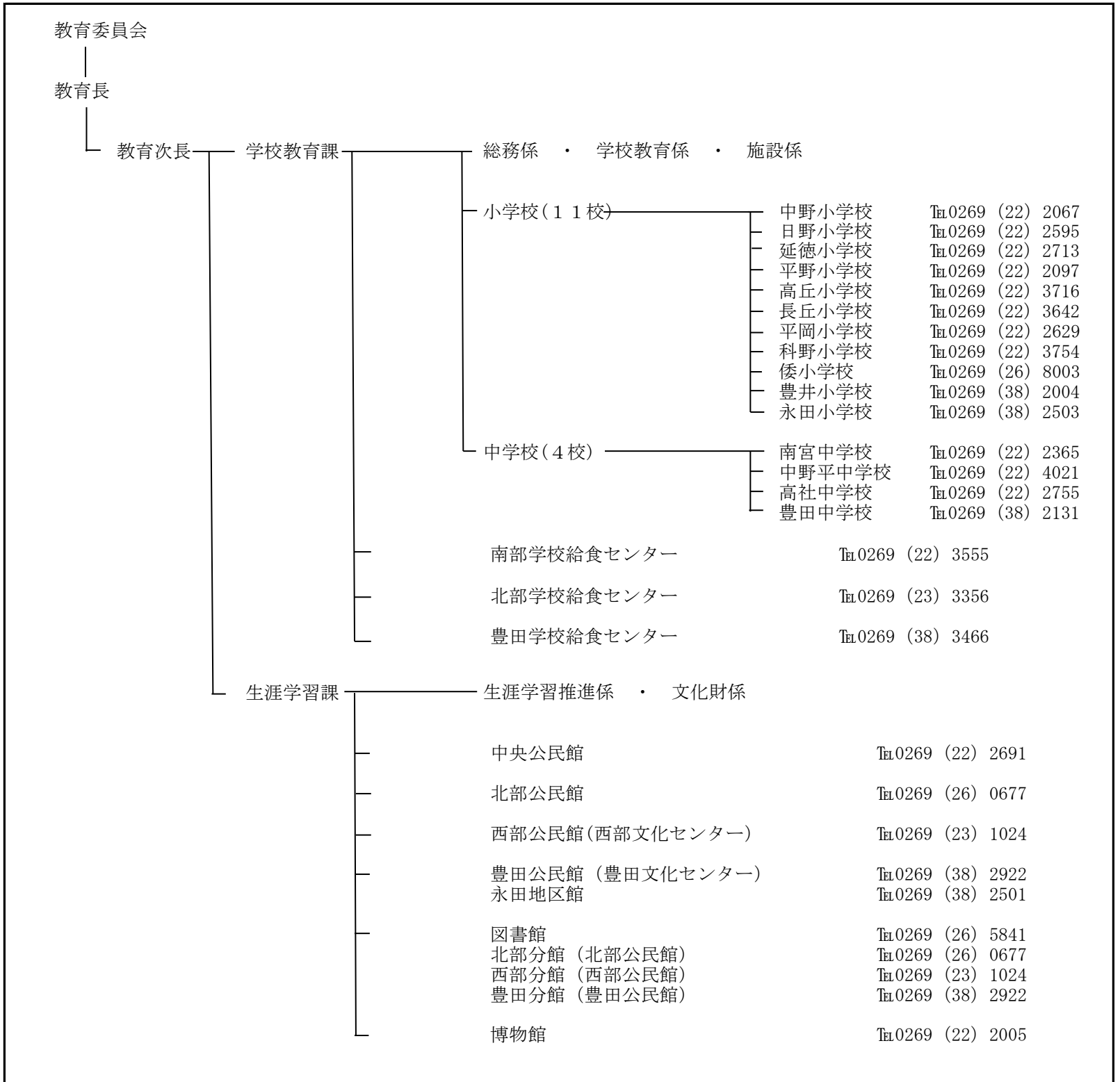
氏 名	役職名	任 期	選出区分
小島 佐和子	代表社会教育委員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
北山 和夫	代表代理 社会教育委員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	識見を有する者
小林 弘治	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	学校教育関係者
和田 吉史	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	社会教育関係者
大塚 昌克	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	社会教育関係者
佐野 茂	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	社会教育関係者
小林 貴子	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	社会教育関係者
柴垣 顕郎	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	識見を有する者
池田 眞貴子	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	識見を有する者
富田 貴江	委 員	H27. 5. 1 ～ H29. 4. 30	識見を有する者

-市理事者-

氏 名	役職名	任 期	就任年月日
池田 茂	市 長	H24. 11. 23 ～ H28. 11. 22	H24. 11. 23
横田 清一	副 市 長	H25. 4. 1 ～ H29. 3. 31	H25. 4. 1

-教育委員会組織図- (H27. 4. 1現在)

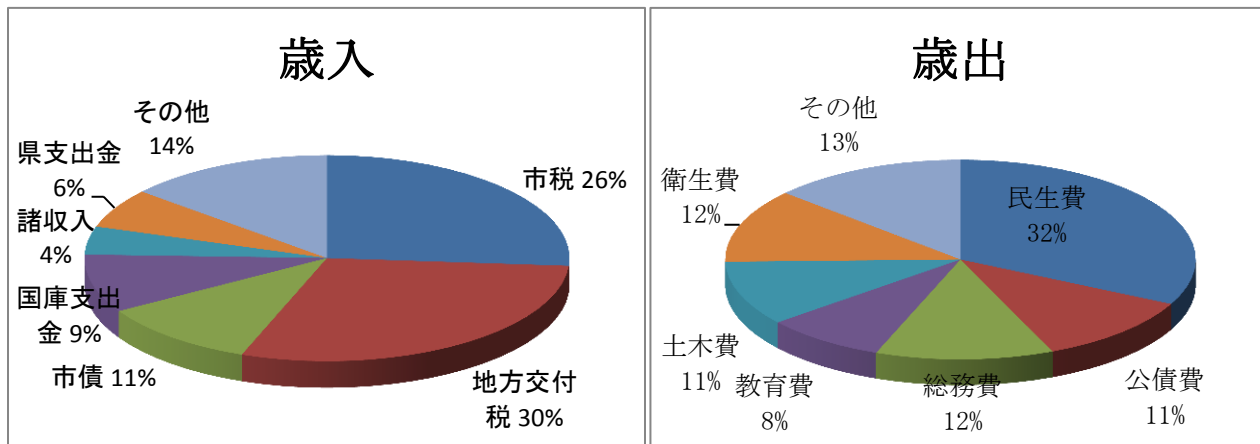
(事務局 TEL0269 (38) 3112 豊田支所内)



学校教育課	総務係	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課の庶務に関すること。 ・教育委員会の会議等に関すること。 ・規則、訓令等の制定改廃に関すること。 ・議会の議決を経るべき議案に関すること。 ・公印の管守に関すること。 ・教育行政の企画及び調整に関すること。 ・文書の收受、配布及び整理に関すること。 ・公告式に関すること。 ・儀式及び表彰に関すること。 ・事務局、学校その他の教育機関の職員(教職員(市町村立学校職員給与負担法(昭和23年法律第135号)第1条に規定する職員をいう。以下同じ。)以下「職員」という。)の任用及び配置に関すること。 ・職員の分限、懲戒、退職及び表彰に関すること。 ・職員の服務及び研修に関すること。 ・特別職(条例及び規則の規定に基づく設置のものを除く。)の任免に関すること。 ・公務災害補償に関すること。 ・教育行政調査に関すること。 ・請願及び陳情に関すること。 ・広報及び広聴に関すること。 ・奨学金に関すること。 ・事務局内の他の課の主管に属さないこと。
	学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の任用、配置、分限、懲戒、退職及び表彰に関すること。 ・教職員の服務及び研修に関すること。 ・教職員の福利厚生に関すること。 ・通学区域の設定及び変更に関すること。 ・学級編成に関すること。 ・学校運営の指導助言に関すること。 ・教科内容の取扱い指導に関すること。 ・教科書その他の教材の取扱いに関すること。 ・児童及び生徒の就学及び就学相談に関すること。 ・児童及び生徒の保健、安全、厚生及び福利に関すること。 ・学校環境の衛生管理に関すること。 ・学校人権教育の指導に関すること。 ・中野市就学相談委員会に関すること。 ・学校給食センターとの連絡調整に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画の策定及び教育財産の取得申出に関すること。 ・学校及び学校給食センターの整備に関すること。 ・学校及び教職員住宅の管理に関すること。
学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの維持管理に関すること。 ・給食センターの運営に関すること。 ・学校給食に関すること。 ・その他給食センターに関すること。 	

生涯学習課	生涯学習推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課の庶務に関する事。 ・生涯学習基本構想に関する事。 ・中野市生涯学習推進会議に関する事。 ・中野市生涯学習推進本部に関する事。 ・生涯学習の企画及び調整に関する事。 ・生涯学習によるまちづくりに関する事。 ・生涯学習情報の収集、提供及び相談に関する事。 ・生涯学習の啓発に関する事。 ・生涯学習指導者の養成及び活用に関する事。 ・生涯学習ボランティアの養成に関する事。 ・社会教育計画の策定に関する事。 ・社会教育委員に関する事。 ・社会教育施設の管理及び整備に関する事。 ・社会教育関係団体の育成及び指導に関する事。 ・関係機関・団体との連絡及び調整に関する事。 ・その他生涯学習の推進に関する事。
	文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の調査、保護、管理及び活用に関する事。 ・中野市文化財保護審議会に関する事。
公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・中野市公民館運営審議会に関する事。 ・公印の管守に関する事。 ・予算及び経理に関する事。 ・施設、備品の維持管理に関する事。 ・文書の保管処理に関する事。 ・事業の企画実施に関する事。 ・施設、備品の利用に関する事。 ・各種学級の開設に関する事。 ・講座、講演会等の開催に関する事。 ・社会教育資料の刊行、利用に関する事。 ・文化及び芸術に関する事。 ・分館事業に関する事。 ・関係役職員の研修に関する事。 ・視聴覚機材の整備、利用に関する事。 ・各種グループ、サークルの育成に関する事。 ・各種団体、機関との連絡提携に関する事。 ・青少年問題に関する事。 ・その他の公民館活動の普及浸透に関する事。
図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入、整理、閲覧、貸出しに関する事。 ・ブックスタート事業、読み聞かせに関する事。 ・中野市立図書館協議会の運営に関する事。
博物館		<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史、民俗、自然科学等の生活文化に係る資料の収集、保管、保存及び展示に関する事。 ・プラネタリウムの運営に関する事。 ・各種講座、講演会等の開催に関する事。 ・中野市立博物館協議会の運営に関する事。

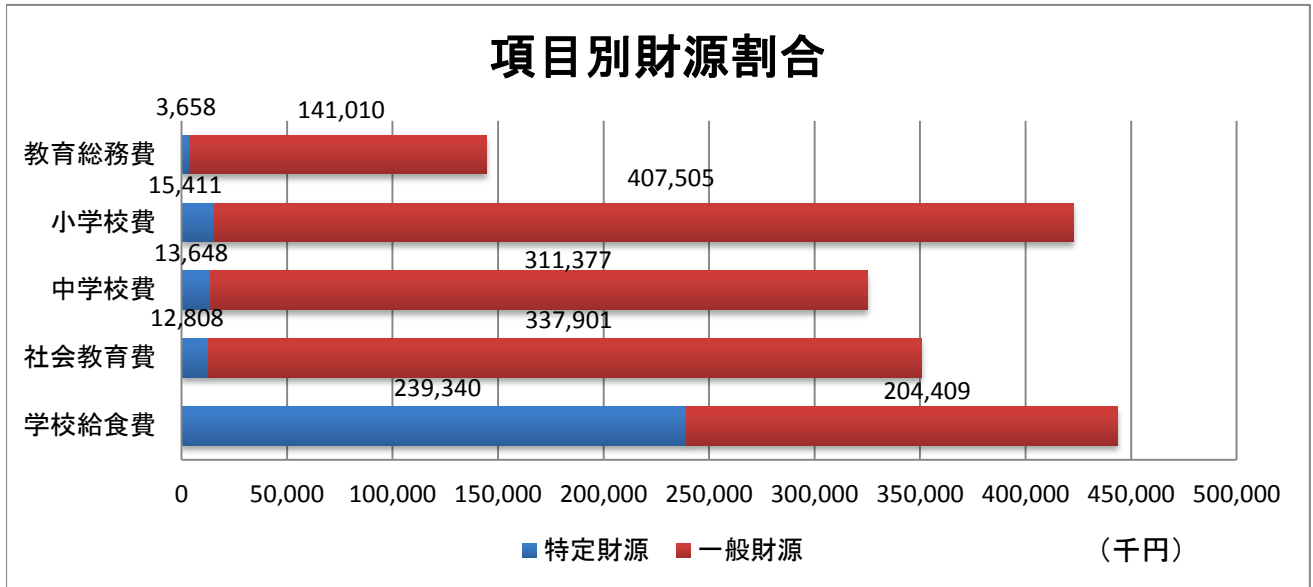
-平成27年度一般会計当初予算-



(単位：千円)

歳 入			歳 出		
款	予算額	構成比(%)	款	予算額	構成比(%)
1 市 税	5,308,600	26.21	1 議 会 費	196,985	1.0
2 地 方 譲 与 税	220,800	1.09	2 総 務 費	2,449,886	12.2
3 利 子 割 交 付 金	11,000	0.05	3 民 生 費	6,484,761	32.4
4 配 当 割 交 付 金	10,000	0.05	4 衛 生 費	2,399,424	12.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,400	0.01	5 労 働 費	86,967	0.4
6 地 方 消 費 税 交 付 金	748,000	3.69	6 農 林 水 産 業 費	1,074,507	5.4
7 ゴルフ場利用税交付金	8,000	0.04	7 商 工 費	582,764	2.9
8 自動車取得税交付金	38,000	0.19	8 土 木 費	2,102,128	10.5
9 地方特例交付金	17,000	0.08	9 消 防 費	702,547	3.5
10 地 方 交 付 税	5,974,000	29.49	10 教 育 費	1,666,203	8.3
11 交通安全対策特別交付金	6,500	0.03	11 公 債 費	2,253,828	11.2
12 分担金及び負担金	245,873	1.21	12 予 備 費	40,000	0.2
13 使用料及び手数料	244,352	1.21			
14 国 庫 支 出 金	1,850,755	9.14			
15 県 支 出 金	1,258,894	6.22			
16 財 産 収 入	85,927	0.42			
17 寄 附 金	36,610	0.18			
18 繰 入 金	927,906	4.58			
19 繰 越 金	200,000	0.99			
20 諸 収 入	894,583	4.42			
21 市 債	2,165,800	10.69			
歳 入 合 計	20,255,000	100	歳 出 合 計	20,040,000	100

-平成27年度教育費歳出項目別当初予算-



(単位:千円)

項目	予算額	構成比 (%)	財源		備考
			特定	一般	
1 教育総務費	144,668	8.6	3,658	141,010	
(1)教育委員会費	3,736	(0.2)	0	3,736	
(2)教育委員会事務局費	127,415	(7.6)	1,149	126,266	
(3)教職員住宅費	2,479	(0.1)	2,479	0	
(4)奨学基金費	11,038	(0.7)	30	11,008	
2 小学校費	422,916	25.1	15,411	407,505	
(1)小学校管理費	219,451	(13.2)	12,020	207,431	
(2)小学校教育振興費	203,465	(12.1)	3,391	200,074	
3 中学校費	325,025	19.3	13,648	311,377	
(1)中学校管理費	161,366	(9.6)	12,121	149,245	
(2)中学校教育振興費	163,659	(9.7)	1,527	162,132	
4 社会教育費	350,709	20.8	12,808	337,901	
(1)社会教育総務費	44,655	(2.6)	0	44,655	
(2)文化財保護費	43,303	(2.6)	6,346	36,957	
(3)公民館費	127,677	(7.6)	1,098	126,579	
(4)図書館費	83,136	(4.9)	1,588	81,548	
(5)博物館費	51,938	(3.1)	3,776	48,162	
5 学校給食費	443,749	26.3	239,340	204,409	
(1)学校給食センター費	443,749	(26.3)	239,340	204,409	
合計	1,687,067	100	284,865	1,402,202	

教育行政のあゆみ (新中野市)

- 平成17年
 - 4月1日 新中野市発足(旧中野市と豊田村合併)
 - 5月11日 教育委員長に阿部敏明、教育委員に城本早月就任
 - 〃 教育長に本山綱規就任
 - 7月25日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) リチャード・ジョセフ・シェラ着任
 - 8月1日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) テヴィン・パーカー・スノー、アダム・ジョン・ストークス着任
 - 11月4日 NHKラジオ番組「ひるの散歩道」公開録音
 - 11月9日 晋平・辰之メモリアル「シャンティクリアコンサート」開催
 - 12月7日 財団法人中野市育英会解散

- 平成18年
 - 2月4日 「第1回生涯学習市民のつどい」開催
 - 2月20日 南宮中学校武道場竣工式
 - 2月25日 「第1回高野辰之忌」
 - 3月27日 北部学校給食センター竣工式
 - 3月28日 中野土人形(中野人形) 工芸技術保持者 西原邦夫氏、市指定文化財を解除(死亡のため)
 - 4月1日 青少年関係及び放課後児童教室関係が子育て課へ、幼稚園関係が保育課へ移行
 - 5月2日 教育委員に岡村郁子就任
 - 5月11日 教育委員長に清水正就任
 - 7月13日 図書館新情報システム稼働式
 - 7月30日 十三屋チョウゲンボウ応援団設立
 - 8月27日 「第27回北信越国民体育大会(剣道競技)」中野市で開催
 - 10月14日 県立中野実業高等学校創立100周年記念式典

- 平成19年
 - 1月19日 市営野球場が信濃グランセローズの公式練習グラウンドに内定
 - 2月6日 国指定文化財に高梨氏館跡が認定
 - 〃 高梨氏の子孫・高梨政延氏から高梨家古文書約700点が寄託
 - 3月31日 高遠山古墳保存整備実施設計完成
 - 4月1日 中山晋平記念館、高野辰之記念館が市の所管施設に移行
 - 〃 文化振興関係が文化振興課へ移行
 - 〃 信濃グランセローズ、キャンペーン
 - 4月5日 県立中野立志館高等学校開校式
 - 5月13日 高梨氏館跡国史跡指定記念童門冬二氏講演会・館跡標柱除幕式
 - 6月21日 教育委員に武田洋就任
 - 7月14日 市営野球場で初の信濃グランセローズ公式戦
 - 7月25日 南部学校給食センター竣工式
 - 7月30日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) マシュー・レイノルズ、ヨーク・ビーチャー着任
 - 9月19日 中野平中学校エレベーター設置工事完了
 - 豊井、永田小学校耐震補強工事完了
 - 10月5日 中野小学校グラウンド整備工事完了
 - 10月17日 柳沢遺跡から「銅戈」と「銅鐸」の破片が出土
 - 10月29日 高遠山古墳保存整備工事着手

- 平成20年
 - 4月1日 スポーツ文化関係が文化スポーツ振興課へ移行
 - 5月11日 教育委員に丸山扶美就任
 - 7月18日 中野平中学校ビオトープ竣工式
 - 8月3日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) テビット・レイソング着任
 - 8月14日 「銅戈・銅鐸」展示会
 - 8月29日 山田邸引渡式
 - 9月20日 柳沢遺跡「銅戈・銅鐸」現地説明会(～21日)
 - 10月9日 前中野市長青木一氏逝去
 - 10月26日 前中野市長故青木一氏中野市葬
 - 11月10日 音声告知放送開始
 - 11月23日 市長選投・開票小田切治世氏が初当選
 - 11月25日 小田切治世市長初登庁

- 平成21年
 - 3月7日 県立中野高等学校卒業式・開校式
 - 4月1日 市立博物館オープン
 - 〃 教育長に栗原満就任
 - 5月1日 市立博物館展示室オープン・記念講演
 - 5月11日 市指定有形文化財「土偶」が大英博物館(イギリス)での展覧会へ出品決定
 - 5月11日 教育委員に土屋正志就任
 - 5月30日 チョウゲンボウ探鳥会
 - 9月4日 豊田中学校アスベスト除去工事完了
 - 9月18日 少年の主張長野県大会(会場:高社中学校)
 - 9月18日 中野小学校耐震補強工事完了
 - 〃 高丘小学校耐震補強工事完了
 - 〃 科野小学校耐震補強工事完了
 - 〃 南宮中学校耐震補強工事完了
 - 11月20日 豊田中学校耐震補強工事完了
 - 12月1日 平岡放課後児童クラブ(ひらっこ)オープン

- 平成22年
 - 1月22日 平野小学校グラウンド防球ネット設置工事完了
 - 3月5日 県立中野実業高等学校開校式
 - 3月12日 南宮中学校テニスコート整備工事完了
 - 3月29日 日野小学校他アスベスト除去工事完了(日野、平岡、永田)
 - 4月30日 (仮称)山田家資料館オープン
 - 5月11日 教育委員長に土屋正志、教育委員に市村尚人就任
 - 5月29日 チョウゲンボウ探鳥会
 - 8月4日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) ダレン・カムラ着任
 - 8月11日 姥ヶ沢遺跡出土の土偶の愛称が「姥ヶ沢ビーナス」に決定
 - 8月～10月 市民教育懇話会(4会場)
 - 9月17日 豊田中学校等別教室棟屋根葺替工事完了
 - 10月4日 (仮称)山田家資料館で高橋由一油彩画の存在を確認
 - 10月29日 中野小学校他トイレ洋式化工事(中野、日野、延徳)
 - 10月29日 平野小学校他トイレ洋式化工事(平野、高丘)
 - 10月29日 長丘小学校他トイレ洋式化工事(長丘、平岡、科野、倭、永田)
 - 10月29日 南宮中学校他トイレ洋式化工事(南宮、中野平、高社)

- 平成23年
 - 2月29日 地域伝統芸能まつりへ日和山神社鬼獅子が出演
 - 5月18日 高橋由一油彩画の記者会見を実施
 - 6月21日 教育委員に高橋智美就任
 - 〃 チョウゲンボウ探鳥会
 - 8月～10月 市民教育懇話会(4会場)
 - 9月16日 中野小学校屋内運動場天井改修工事完了
 - 9月22日 豊田中学校特別教室棟屋根葺替工事完了

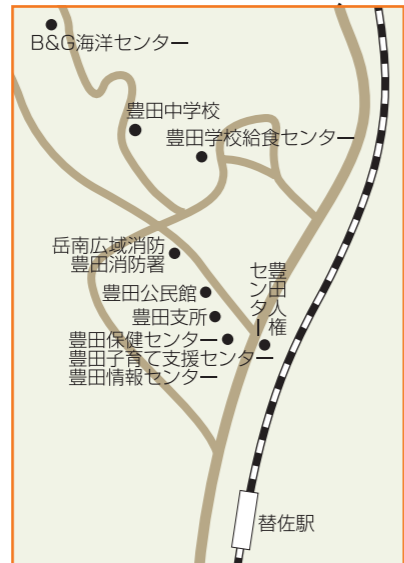
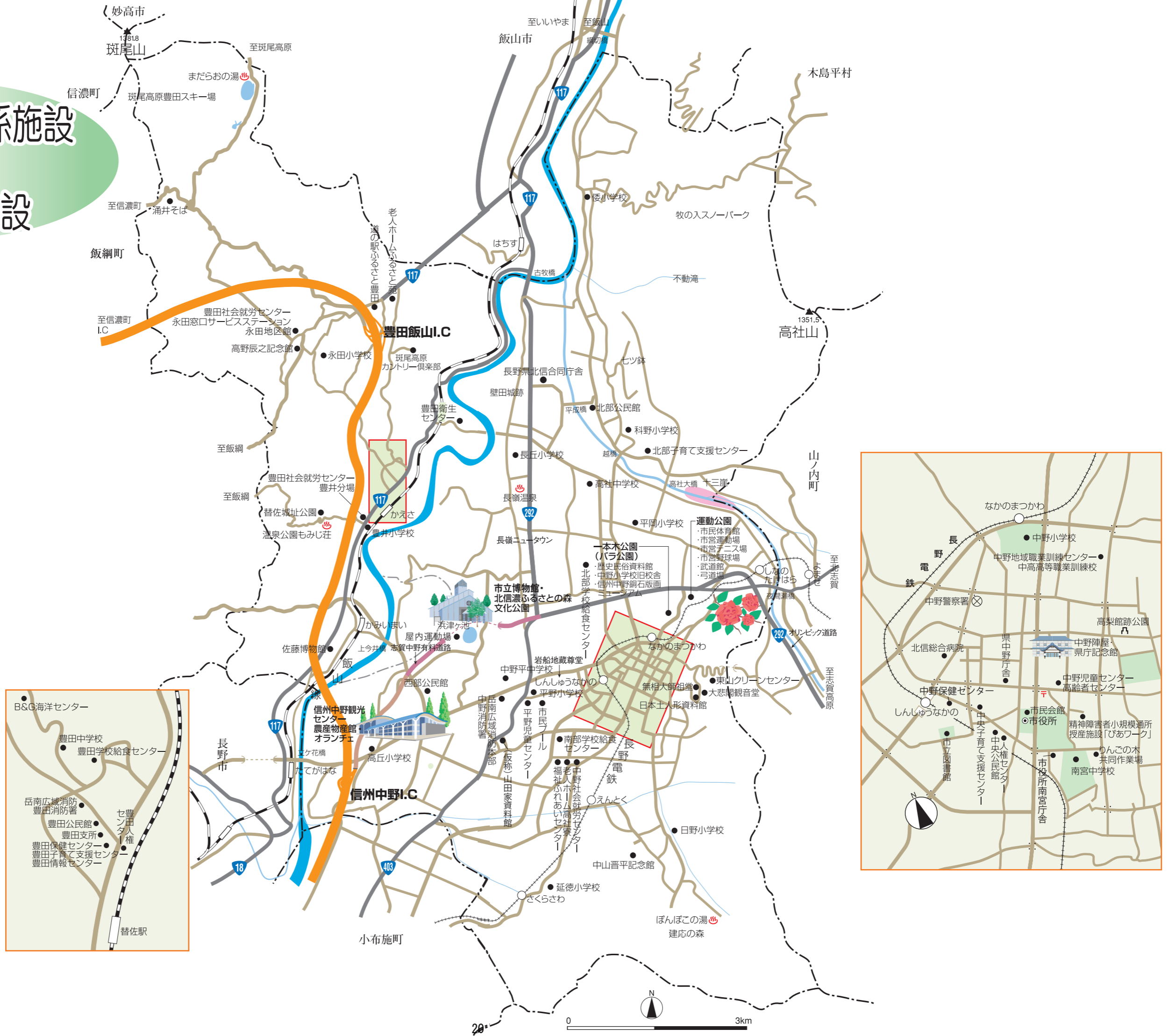
- 平成24年
 - 2月17日 永田小学校プール循環ろ過装置更新工事完了
 - 3月26日 科野小学校グラウンドバックネット更新工事完了
 - 〃 中野小学校グラウンドバックネット更新工事完了
 - 5月11日 教育委員に岡村博子就任
 - 5月21日 日食観察会「金環日食を見よう！」
 - 5月26日 チョウゲンボウ探鳥会
 - 6月16日～17日 山田家資料館 初夏の邸内開放と綿くり体験
 - 8月6日 語学指導を行う外国青年招致事業、英語指導助手(AET) ブレア・ウリアムズ、アンソニー・ガデーヤ着任
 - 8月10日 長丘小学校風力発電機設置工事完了
 - 9月6日 第1回中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会
 - 11月～3月 博物館常設展示室改修工事
 - 11月23日 池田市長就任

- 平成25年
- 2月8日 倭小学校屋外トイレ改修工事完了
 - 3月20日 第1回ふるさとレポート発表会開催
 - 3月25日 柳沢遺跡出土品一括が県宝指定
 - 3月28日 高橋由一油彩画寄贈
 - 4月1日 教育長に小嶋隆徳就任
 - 4月2日 市立図書館開館時間延長試行事業
(3月27日まで)
 - 5月13日 教育委員長に市村尚人、教育委員に青木幸子就任
 - 6月 市立図書館開館20周年
 - 6月1日 チョウゲンボウ探鳥会
 - 6月1日～30日 山田家資料館 特別企画展
 - 7月29日 語学指導を行う外国青年招致事業、
英語指導助手(AET) フランク・トランペッティ着任
 - 7月31日 市指定天然記念物 壁田城山のイヌザクラの
市指定文化財を解除
 - 9月10日 平野小学校グラウンド整備工事完了
 - 10月18日 南宮中学校図書室
 - 10月18日 第1音楽室エアコン設置工事完了
 - 10月18日 平野小図書室、音楽室エアコン設置工事完了
 - 10月31日 屋内運動場非構造部材耐震化工事
(日野、豊井)
 - 11月20日 中野市子ども読書活動推進連絡会議先進地
視察(下諏訪町、山形村)
 - 11月30日～12月28日 市立博物館新収蔵展「県宝柳沢遺跡出土品」
～ふるさとへ戻った銅戈(どうか)・銅鐔
(どうたく)たち～
 - 12月8日 記念講演会「柳沢遺跡と弥生社会」
 - 12月21日 市立図書館開館19周年記念講演会
 - 2月25日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(高丘)

- 平成27年
- 2月8日 H26年度「なかの21市民講座」
 - 3月15日 市立博物館ふるさとレポート発表会
 - 4月9日 外国語指導助手(ALT)イザベル・コスクエラ着任
 - 4月26日 市立博物館 展示室・プラネタリウム無料公開
 - 5月4日 H27年度 中野市成人式
 - 5月30日～6月28日 合併10周年記念事業「陣屋のまちの文化力」
チョウゲンボウ探鳥会
 - 6月6日 教育委員に市川真一就任
 - 6月24日 科野小学校、高社中学校図書室、音楽室
エアコン工事完了
 - 6月30日 延徳小学校図書室、音楽室エアコン設置工事
完了
 - 7月17日 合併10周年記念事業
「受け継がれた農具たち～豊田の民具～」
 - 8月1日～9月27日 外国語指導助手(ALT)ミッシェル・ダーハ
マリッサ・ワウ着任
 - 8月3日 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本
方針案市民説明会(全11回)
 - 8月25日～9月30日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(豊田中)
 - 8月31日 夢の教室(豊井小)
 - 8月31日 夢の教室(平野小)
 - 9月3日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(長丘小)
 - 9月8日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(平岡小)
 - 10月16日 屋内運動場・武道場非構造部材耐震化工事
完了(高社中)
 - 10月16日

- 平成26年
- 1月31日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(中野、南宮)
 - 2月15日～3月9日 陣屋カフェ講座(全6回)
 - 3月 中野市文化財調査報告書第8集
東江部村山田庄左衛門家資料目録
山田家のくらしと文化一書画・工芸編一発刊
 - 3月20日 中央公民館ほか耐震補強工事完了
 - 〃 中央公民館非常用自家発電装置入替工事完了
 - 〃 中央公民館高圧受電設備改修工事完了
 - 3月30日 市立博物館ふるさとレポート発表会
 - 4月1日 市立図書館平日開館時間を午後7時まで延長
 - 5月12日 教育委員長に長島克己就任
 - 5月31日 チョウゲンボウ探鳥会
 - 6月7日～22日 山田家資料館特別展
 - 6月11日～8月17日 市立博物館展示「銅戈・銅鐔と柳沢遺跡」
遺跡見学会
 - 6月28日 市立博物館講演会「栗林式土器と柳沢遺跡」
 - 7月20日 市立博物館講演会「青銅器と柳沢遺跡」
 - 8月3日 語学指導を行う外国青年招致事業、
英語指導助手(AET) マイケル・スミス、ダニエル・カチェン
着任
 - 8月21日 柳沢遺跡出土品一括が国の重要文化財に指定
 - 8月7日～10日 子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう！」
 - 8月29日 高丘小学校グラウンド整備工事完了
 - 9月4日 中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会
答申
 - 9月12日 平岡小学校図書室、音楽室エアコン設置工事
完了
 - 10月15日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(倭小)
 - 10月27日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(平野小)
 - 10月31日 高丘小学校、中野平中学校図書室、音楽室
エアコン設置工事完了
 - 11月21日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(延徳小)
 - 12月25日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(永田小)
 - 1月9日 屋内運動場非構造部材耐震化工事完了
(科野小)
 - 3月6日 屋内運動場・武道場非構造部材耐震化工事完了
(中野平中)

教育委員会関係施設 及び 市内主要施設



3 学校教育

学校教育

- 学校一覧表 -

(H27. 5. 1 現在)

学校名	所在地	創立年月日	校長名	教頭名	
小学校	中野	中野 1804	明治 22 年 4 月 1 日	堀内 敏明	和田 恒弥
	日野	新野 827	明治 22 年 4 月 1 日	上倉 貞雄	河野 文隆
	延徳	三ツ和 1731	明治 22 年 4 月 1 日	原 隆文	滝澤 博子
	平野	江部 1359-4	明治 22 年 4 月 1 日	横倉 隆夫	永井 宏樹
	高丘	草間 1505	明治 22 年 4 月 1 日	嶋田 伸次	小林 妙子
	長丘	壁田 1572	明治 22 年 4 月 1 日	若松 享観	若林 幸裕
	平岡	金井 80	明治 43 年 4 月 1 日	下川 昌平	征矢野 亘
	科野	越 849	明治 22 年 4 月 1 日	阿部 恵子	宮津 和範
	倭	田上 322	明治 34 年 4 月 1 日	宮下 宏	原沢 あけみ
	豊井	上今井 3435-1	明治 35 年 4 月 1 日	鎌野 登美子	吉本 永喜
	永田	永江 1824-4	明治 7 年 4 月 1 日	今井 陽二	力 尚宏
中学校	南宮	南宮 1-12	昭和 30 年 12 月 1 日	池田 清栄	海野 善弘
	中野平	片塩 165	昭和 33 年 5 月 1 日	和田 宏昭	有賀 透
	高社	笠原 190	昭和 37 年 4 月 2 日	小林 弘治	加藤 好章
	豊田	豊津 4296-1	昭和 46 年 4 月 1 日	清野 正美	笠原 利幸

- 学校職員数 -

(H27. 5. 1 現在)

区分 学校名	県費											市費								
	校長	教頭	教諭		講師	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	栄養職員	事務	小計	T・T・養護	事務職員	図書館事務	特別支援員他	小計	学校医	歯科医	薬剤師	
			男	女																
小学校	中野	1	1	17	18	3	1	1			2	44	1		1	11	13	5	4	1
	日野	1	1	4	4	1	1				1	13			1	3	4	3	1	1
	延徳	1	1	4	4	1	1				1	13			1	4	5	3	1	1
	平野	1	1	8	14	4	1				1	30		1	1	8	10	4	3	1
	高丘	1	1	2	7		1				1	13			1	4	5	3	1	1
	長丘	1	1	3	4	4	1				1	15			1	3	4	3	1	1
	平岡	1	1	4	8	2	1				1	18			1	5	6	3	1	1
	科野	1	1	4	4		1				1	12			1	4	5	3	1	1
	倭	1	1	2	4		1				1	10	1		1	3	5	3	1	1
	豊井	1	1	3	5	1	1				1	13			1	3	4	3	1	1
	永田	1	1	4	4	1	1				1	13			1	3	4	3	1	1
計	11	11	55	76	17	11	1	0	0	12	194	2	1	11	51	65	36	16	11	
中学校	南宮	1	1	16	16	5	1		1	1	43	2	1	1	6	10	5	3	1	
	中野平	1	1	13	7	5	1				29	1	1	1	4	7	4	2	1	
	高社	1	1	14	4	1	1			2	25	1	1	1	4	7	4	3	1	
	豊田	1	1	7	3	3	1		1		18			1	3	4	3	1	1	
	計	4	4	50	30	14	4	0	2	3	4	115	4	3	4	17	28	16	9	4

- 小・中学校通学区域-

小学校	地区名	中学校
中野小学校	中町、東町、西町、普代、松川、東松川、栗和田、 上小田中、下小田中、西条、一本木、東吉田	南宮中学校
日野小学校	間山、新野、高遠、更科、東山団地	
延徳小学校	桜沢、大熊、北大熊、小沼、篠井、新保	
平野小学校	東江部、西江部、泉団地、岩船、吉田、片塩、七瀬、 長嶺	中野平中学校
高丘小学校	安源寺、栗林、牛出、立ヶ花、草間、日和、大俣	
長丘小学校	田麦、厚貝、壁田、古牧	高社中学校
平岡小学校	新井、若宮、竹原、長元坊、金井、南間長瀬、北間長瀬、 東笠原、西笠原	
科野小学校	赤岩、越、深沢	
倭小学校	柳沢、田上、岩井、岩井東、中小屋、牧ノ入	
豊井小学校	上今井、替佐、美沢、笠倉、裕、奥手山	豊田中学校
永田小学校	穴田、毛の川、南永江、北永江、梨久保、涌井、親川、 三俣、赤坂、豊田深沢	

平成27年度 児童・生徒数

平成27年5月1日現在

	1 年		2 年			3 年			4 年			5 年			6 年			合 計				総 合 計			
	学級	児童生徒数		学級	児童生徒数		学級	児童生徒数		学級	児童生徒数		学級	児童生徒数		学級	児童生徒数		学級		児童生徒数		学級	児童生徒数	
		普通	特支		普通	特支		普通	特支		普通	特支		普通	特支		普通	特支	普通	特支	普通	特支			
小 学 校	中野	4	132	3	4	131	1	4	128	7	4	128	6	4	137	11	4	119	11	24	6	775	39	30	814
	日野	1	10	0	1	16	2	1	11	0	1	15	1	1	15	0	1	17	0	6	2	84	3	8	87
	延徳	1	24	1	1	32	0	1	27	2	1	27	0	1	34	1	1	32	1	6	2	176	5	8	181
	平野	3	83	5	3	72	1	3	88	4	3	76	3	3	75	3	3	94	4	18	4	488	20	22	508
	高丘	1	24	1	1	32	1	1	30	0	1	34	2	1	32	3	1	26	2	6	2	178	9	8	187
	長丘	1	18	0	1	10	0	1	12	0	1	12	0	1	11	1	1	14	1	6	2	77	2	8	79
	平岡	2	46	0	2	42	2	2	46	0	1	33	0	1	29	1	2	41	2	10	2	237	5	12	242
	科野	1	7	0	1	7	0	1	12	1	1	12	0	1	12	2	1	19	0	6	1	69	3	7	72
	倭	1	3	0	1	12	0	1	8	0	1	8	0	1	9	0	1	7	0	6	0	47	0	6	47
	豊井	1	20	0	1	21	0	1	25	0	1	10	1	1	13	0	1	17	2	6	2	106	3	8	109
	永田	1	11	2	1	9	0	1	4	2	1	12	0	1	11	2	1	12	0	6	2	59	6	8	65
計	17	378	12	17	384	7	17	391	16	16	367	13	16	378	24	17	398	23	100	25	2,296	95	125	2,391	
中 学 校	南宮	6	184	10	7	214	6	6	207	5									19	4	605	21	23	626	
	中野平	4	133	5	4	115	11	4	115	9									12	4	363	25	16	388	
	高社	3	80	6	3	81	7	3	96	4									9	3	257	17	12	274	
	豊田	2	39	0	2	39	1	2	36	1									6	2	114	2	8	116	
	計	15	436	21	16	449	25	15	454	19									46	13	1,339	65	59	1,404	
合 計																			146	38	3,635	160	184	3,795	

- 児童・生徒の体位（平均） -

中野市：H26 長野県：H26

区 分			身 長 (cm)		体 重(kg)		座 高(cm)		
			男	女	男	女	男	女	
小 学 校	1 年	中野・下高井	118.6	118.0	22.7	22.4	65.5	65.2	
		長野県	116.4	115.4	21.2	20.6	64.6	64.1	
	2 年	中野・下高井	124.5	123.7	25.2	24.8	68.1	68.0	
		長野県	122.2	121.2	23.7	23.1	67.3	66.9	
	3 年	中野・下高井	130.3	128.9	28.7	27.4	70.8	69.7	
		長野県	127.8	126.9	26.8	26.0	70.0	69.5	
	4 年	中野・下高井	133.4	133.1	30.3	30.0	72.2	72.0	
		長野県	133.2	132.9	30.0	29.5	72.2	72.3	
	5 年	中野・下高井	138.9	140.1	33.6	34.3	74.4	75.4	
		長野県	138.4	139.5	33.5	33.4	74.5	75.4	
	6 年	中野・下高井	145.2	146.1	37.9	38.3	77.2	78.4	
		長野県	144.6	146.2	37.9	38.1	77.3	78.5	
	中 学 校	1 年	中野・下高井	150.7	150.0	43.3	42.6	80.9	81.4
			長野県	152.0	151.5	43.5	43.4	81.1	81.9
2 年		中野・下高井	158.2	153.1	48.5	46.0	84.3	82.8	
		長野県	159.2	154.4	48.4	46.8	84.6	83.6	
3 年		中野・下高井	164.8	155.4	53.6	50.2	88.0	84.3	
		長野県	164.6	156.1	53.7	49.7	87.9	84.7	

- 中学校卒業者の進路状況(平成 26 年度卒業生) -

区 分		人 員	割 合(%)
進 学 者	高等学校全日制	443	92.3
(就職進学者含む)	高等学校定時制	8	1.7
	高等学校通信制	8	1.7
	高等専門学校	8	1.7
	特別支援学校高等部	7	1.4
	計	474	98.8
教育訓練機関等	専修学校	1	0.2
	各種学校		
	公共職業能力開発施設等		
	計	1	0.2
就 職 者		1	0.2
上 記 以 外		4	0.8
合 計		480	100.0

－特別支援教育－

児童生徒の特別支援教育の充実並びに適正な教育措置を図るため、中野市就学相談委員会を設置。

中野市就学相談委員 (H27.5.1現在)

区 分	氏 名	区 分	氏 名
識見を有する者	宮入 靖	特別支援学級 担任教諭	竹内 雅人
	那須野 裕		丸山 浩子
医師	西丸 甫夫		市村 麻理子
	今井 寿郎	清水 さと美	
中野市校長会	堀内 敏明	中野市職員	小畑 悦子

－心の教室－

生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供することの必要性から、生徒が気軽に悩みを話し、ストレス状況の把握と緩和、解消に努める第三者的な存在の「心の教室」指導員を配置。

- (1) 指導員職務 生徒の悩み相談、話し相手
地域と学校の連携の支援
教育活動の支援
- (2) 相談員配置校 南宮中学校、豊田中学校

－要保護・準要保護児童就学援助費・特別支援教育就学奨励費 (H26年度実績)－

小学校

扶 助 内 容		対象人数(人)	支給額(円)
要保護・ 準要保護児童	学用品費等	210	6,155,365
	医 療 費	3	18,070
就学援助費	学校給食費	210	9,858,418
特別支援教育就学奨励費		81	2,759,405

中学校

扶 助 内 容		対象人数(人)	支給額(円)
要保護・ 準要保護生徒	学用品費等	140	11,041,914
	医 療 費		
就学援助費	学校給食費	139	7,748,102
特別支援教育就学奨励費		41	2,311,466

-学校施設等の状況-

1 校地面積

(H27.9.1現在)

区分 学校名	校地総面積(m ²)	校 地 内 訳			左記のうち 借用地(m ²)	
		校舎敷地(m ²)	屋外運動場(m ²)	その他実験実習地 (m ²)		
小 学 校	中野	33,714	18,419	13,622	1,673	660
	日野	17,135	7,923	8,445	767	
	延徳	14,864	7,071	7,631	162	
	平野	14,192	9,387	4,706	99	
	高丘	16,721	11,157	5,425	139	
	長丘	18,339	9,178	7,948	1213	
	平岡	18,679	9,988	6,288	2,403	
	科野	29,210	7,189	12,462	9,559	
	倭	12,195	7,717	4,278	200	
	豊井	14,697	7,451	6,642	604	
	永田	22,648	7,331	13,222	2,095	
	計	212,394	102,811	90,669	18,914	660
	中 学 校	南宮	35,022	19,202	13,130	2,690
中野平		34,130	16,404	14,384	3,342	
高社		30,761	15,428	15,204	129	
豊田		18,450	6,537	11,551	362	
計		118,363	57,571	54,269	6,523	

2 校舎面積

(H27.9.1現在)

区分 学校名	総面積(m ²)	校 舎			屋内運動場 面積(m ²)	
		鉄筋コンクリート (m ²)	鉄骨(m ²)	木造(m ²)		
小 学 校	中野	9,482	9,228	254	1,524	
	日野	4,473	4,376	51	838	
	延徳	5,020	4,922	98	929	
	平野	6,387	5,167	1,220	1,003	
	高丘	4,139	4,062	35	808	
	長丘	3,894	3,819	75	921	
	平岡	5,609	5,599	10	1,303	
	科野	3,238	3,170	68	680	
	倭	3,305	3,253	10	890	
	豊井	4,168	4,143		933	
	永田	3,753	3,753		838	
	計	53,468	51,492	1,821	155	10,667
	中 学 校	南宮	12,088	11,901	187	1,382 (2,578)
中野平		8,492	8,458	34	1,492 (2,068)	
高社		9,254	9,203	51	1,328 (2,295)	
豊田		5,461	5,006	455	1,080	
計		35,295	34,568	727	5,282 (6,941)	

()内は武道場を含む

3 プール設置状況

学 校 名	設 置 月 日	水 槽 規 格	工 事 費(円)	附 属 設 備					
				洗 眼	シ ャ ワ ー	更 衣 室	ト イ レ	浄 化 装 置	
小 学 校	中 野	S11.7 S59.7	{ 25×14 14×14 25×16	(寄 附) 68,800,000	○	○	○	○	○
	日 野	S37.7	25×11	1,830,000	○	○	○	○	○
	延 徳	S56.7	25×11 10×6	54,180,000	○	○	○	○	○
	平 野	S58.7	25×12 10×6	69,250,000	○	○	○	○	○
	高 丘	S37.7	25×11 11×5	2,400,000	○	○	○	○	○
	長 丘	H13.9	25×13 8×6	104,400,000	○	○	○	○	○
	平 岡	S38.8	25×11 10×8	6,170,000	○	○	○	○	○
	科 野	S38.7	25×11 20×3	4,920,000	○	○	○	○	○
	倭	S38.7	25×11 25×3	4,477,000	○	○	○	○	○
	豊 井	H15.2	25×17	93,222,000	○	○	○	○	○
	永 田	S56.7	25×17	42,680,000	○	○	○	○	○
中 学 校	南 宮	S39.8	50×17	(寄 附)	○	○	○	○	○
	中野平	H13.11	25×13	105,105,000	○	○	○	○	○
	高 社	S40.8	50×15	8,000,000	○	○	○	○	○
	豊 田	S51.7	25×15	25,500,000	○	○	○	○	○

4 学校施設改築状況

学 校 名	改 築 年 度		
	校 舎	屋内運動場	そ の 他
中野小学校	S55 (2,387㎡) S56 (1,688㎡) S58 (1,552㎡) S60 (2,042㎡) H16 (1㎡)	S55 (353㎡) S59 (1,171㎡)	プール S59 (400㎡)
日野小学校	S56 (1,048㎡) S62 (2,491㎡)	S62 (838㎡)	用地 S55 (2,208㎡) S57 (1,247㎡)
延徳小学校	S61 (1,931㎡) S62 (2,003㎡)	H15 (929㎡)	プール S56 (335㎡)
平野小学校	S57 (2,082㎡) S58 (1,949㎡) H9 (276㎡) H15 (846㎡)	H3 (1,003㎡)	用地 S56 (2,644㎡) プール S57 (360㎡)
高丘小学校	S55 (1,258㎡) S56 (1,025㎡) S57 (962㎡)	S55 (808㎡)	用地 S55 (2,283㎡)
長丘小学校	H13 (2,840㎡)	H13 (921㎡)	用地 H11 (17,499㎡)
平岡小学校	S58 (2,079㎡) S59 (2,165㎡)	H16 (1,303㎡)	用地 S59 (969㎡)
科野小学校	S55 (954㎡) S56 (1,509㎡)	S55 (680㎡)	
倭小学校	S57 (2,363㎡)	S63 (890㎡)	用地 S57 (299㎡)
豊井小学校	S52～53 (3,119㎡)	S60 (933㎡)	
永田小学校	S55 (2,809㎡)	S55 (838㎡)	
南宮中学校	H7 (2,598㎡) H8 (3,454㎡) H9 (2,426㎡) H10 (741㎡)	H7 (1,556㎡)	武道場 H17 (507㎡)
中野平中学校	H12 (6,170㎡)	H13 (1,599㎡)	用地 H10 (34,175㎡) プール H13 (325㎡) プール棟 H13 (114㎡) 武道場 H13 (576㎡) グラウンド H14 (14,384㎡)
高社中学校	H14 (3,702㎡) H15 (2,484㎡) H16 (723㎡)	H15 (1,328㎡)	武道場 H16 (555㎡)
豊田中学校	S46～47 (3,954㎡) H13 (353㎡) H16 (9㎡)	S48 (1,080㎡)	

一教職員住宅一

(H27.9.1現在)

住宅番号	建築年度	戸数	所在地	構造	面積(m ²)	備考
1	H2	1棟1戸	田上 875 番地 4	木造平屋建	63.76	
2	S48	〃	江部 1291 番地 5	〃	64.99	
3	S49	〃	江部 1428 番地 8	〃	63.76	
4	S63	〃	三ッ和 1668 番地 2	〃	66.79	
5～10	H6	1棟6戸	小田中 460 番地 1	R C造3階建	187.80	A棟
11～14	H8	1棟4戸	〃	〃	127.70	C棟
15～20	H9	1棟6戸	〃	〃	188.55	D棟
21～24	H10	1棟4戸	〃	〃	127.70	E棟
25	H10	1棟1戸	永江 3754 番地 5	木造平屋建	92.48	
26・27	S60	1棟2戸	豊津 2926 番地 7	木造2階建	138.81	
28・29	H6	1棟2戸	豊津 4195 番地 6	木造2階建	155.00	

(教職員住宅合計 29 戸)

—中野市奨学基金—

学校教育法に定める国内の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校及び高等学校に在学する者（通信制及び通信教育を除く）で、勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みのある者に奨学金を貸与（無利息）する。

1 貸付を受ける者の要件

- (1) 中野市内に引続き1年以上居住している（いた）者であること。
- (2) 学業成績、性行が優秀でかつ健康であること。
- (3) 経済的理由によって就学困難と認められること。
- (4) 他の団体※から別に奨学金の貸与を受けていないこと。

※日本学生支援機構（旧日本育英会）等

2 貸与額及び償還年数

区 分	貸 与 月 額	償 還 年 数
高 等 学 校	18,000～35,000円	6～9年
高等専門学校	21,000～48,000円	6～12年
4年制大学	42,000～61,000円	12～16年
短 期 大 学	42,000～57,000円	6～8年
専 修 学 校	18,000～57,000円	6～16年

3 貸付状況検討

(H27.9.1現在)

年度	新規貸付数(人)			年度内貸付 (見込)額(円)	償還済 (人)	償還中 (人)	猶予中 (人)	貸付中 (人)	停止中 (人)
	高校	大学等	合計						
14	0	5	5	3,504,000	5				
15	2	6	8	6,804,000	6	2			
16	2	5	7	10,269,000	3	4			
17	0	6	6	11,028,000	3	3			
18	1	9	10	13,050,000	1	9			
19	0	7	7	12,720,000	1	6			
20	0	11	11	17,487,000	2	8			
21	1	8	9	17,448,000		9			
22	0	7	7	15,408,000	1	4	1	1	
23	0	9	9	16,740,000	1	8			
24	2	6	8	14,811,000	2	2	1	3	
25	1	7	8	14,343,000	1		1	6	
26	0	7	0	15,468,000				7	
27	0	5	5	16,452,000				5	

4 学校給食

学校給食

一 沿革

当市の学校給食は、平成 17 年 4 月 1 日、合併により中野市学校給食共同調理場と豊田学校給食センターの 2 センターの共同調理場方式により実施してきた。老朽化した中野市学校給食共同調理場の改築にあたり、教育的配慮から最大調理食数を 1 箇所あたり 2,500 食程度と考え、北部、南部の 2 箇所設置することとし、平成 18 年 4 月から北部学校給食センターが、また、平成 19 年 8 月から南部学校給食センターが稼動したことにより、3 センターによる市内 15 小中学校へ給食を提供している。

地産地消と食育の推進を図るため、毎年 6 月を食育月間、毎月 19 日を地域食材の日と定め、地元産食材を使った給食を提供している。

また、行事食や郷土食を取り入れた給食を実施している。

一 施設の概要等

	南部学校給食センター	北部学校給食センター	豊田学校給食センター
所在地	中野市大字西条 138 番地	中野市大字新井 332 番地 1	中野市大字豊津 4,296 番地 1
着工	平成 18 年 8 月 1 日	平成 17 年 8 月 4 日	平成 12 年 8 月 10 日
竣工	平成 19 年 7 月 25 日	平成 18 年 3 月 27 日	平成 13 年 1 月 10 日
給食開始	平成 19 年 8 月 20 日	平成 18 年 4 月 6 日	平成 13 年 2 月 1 日
敷地面積	4,756.00 m ²	4000.00 m ² (借地)	豊田中学校敷地内
建設面積	1,699.00 m ² (鉄骨)	1,475.00 m ² (鉄骨)	530.92 m ² (鉄骨)
調理場方式	ドライ方式	ドライ方式	ドライ方式
給食人員 (H27.4.1 現在)	小学校(4校) 963人 中学校(2校) 1,014人 教職員 175人 (計 2,152人)	小学校(5校) 1,250人 中学校(1校) 274人 教職員 150人 (計 1,674人)	小学校(2校) 174人 中学校(1校) 115人 教職員 55人 (計 344人)
センター職員 (H27.4.1 現在)	所長 1・事務員 1 栄養教諭 1・栄養士 1 ・調理員 19 (正規 3、嘱託 7、臨時 9)	所長 1(兼)・事務員 1 栄養士 2・調理員 18 (正規 3、嘱託 5、臨時 10)	所長 1(兼)・事務員 1(兼) 栄養教諭 1・調理員 6 (正規 2、嘱託 2、臨時 2)
給食日数	年間平均 205 日	年間平均 204 日	年間平均 206 日
センター稼動日数	210 日	210 日	210 日
米飯給食 (週 3 回)	月・水・金曜日	月・水・金曜日	月・水・金曜日
パン給食 (週 2 回)	火・木曜日	火・木曜日	火・木曜日
給食費	小学校低学年 247 円 小学校高学年 268 円 中学生 309 円	小学校低学年 247 円 小学校高学年 268 円 中学生 309 円	小学校低学年 247 円 小学校高学年 268 円 中学生 309 円
米飯炊飯 (配送含)	委託 (市内 2 業者)	委託 (市内 1 業者)	直営 (センター)

パン加工 (配送含)	委託 (市内 2 業者)	委託 (市内 2 業者)	委託 (市内 1 業者)
副食配送業務	委託 (西送車3台)	委託 (西送車3台)	委託 (西送車1台)
献立作成	献立委員会で決定 (2ヶ月毎)	献立委員会で決定 (2ヶ月毎)	献立委員会で決定 (毎月)
献立基本	3品	3品	3品
食器種類	ごはんカップ(深皿)、 汁カップ、角仕切皿、 はし、スプーン	ごはんカップ(深皿)、 汁カップ、角仕切皿、 はし、スプーン	ごはんカップ(深皿) 汁カップ、角仕切皿、 はし、スプーン
調理仕上げ時間	11時10分頃	11時10分頃	小学校分 11時30分頃 中学校分 12時15分
コンテナ配送時間	11時30分頃から2往復	11時30分頃から2往復	11時50分頃から2往復
小学校給食時間	12時25分～	12時30分～	12時15分～
中学校給食時間	12時45分～	12時45分～	12時45分～
食器・食缶 洗浄時間	約2時間30分	約2時間30分	約1時間30分

—学校給食センター運営委員会—

12名以内で構成(任期2年)。

学校給食センターの運営に関する事項を審議。

—献立委員会—

各学校の給食担当者(各校1名)計15名で構成。

各センターの栄養士が作成した原案に基づき、センター毎に献立を決定。



南部学校給食センター



北部学校給食センター



豊田学校給食センター

5 生涯學習

生涯学習

－生涯学習のまちづくり推進事業－

市民がいつでもどこでも自主的・自発的に学習ができるように学習機会の提供に努め、生涯学習のまちづくりを推進する。

1 生涯学習情報の収集・提供

(1) 生涯学習情報誌の発行

公共施設等で開催するイベント、コンサート、スポーツ、各種講座情報や団体・サークル情報、人材情報等を提供する情報誌を年4回発行する。

また、インターネットのホームページでも同様の情報を提供する。

(2) 人材情報への登録

市民の学習を支援するため、指導者を人材情報へ登録し、活用を図る。

2 中野まなびい塾の開催

市が行っている仕事を講座のメニューとして、市民の希望により市職員が講師となって地域に出向き施策・業務内容等について説明する。(講座メニュー別掲)

3 生涯学習を進める市民大会の開催

生涯学習市民のつどい等生涯学習について広く市民に啓発する事業を実施する。

4 子ども読書活動の推進

中野市のすべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書に親しむことができるよう、市民と市が協働して環境の整備を進める。

(1) 家庭・地域・学校等の連携及び支援

関係機関と連携し、読み聞かせ情報が掲載されている「おはなしマップ」を配布する。

また、読み聞かせボランティア団体への支援等を行う。

<中野まなびい塾講座メニュー>

講座番号	講座名	担当課
1	もしものときに備えて	危機管理課・都市計画課
2	情報公開と個人情報の保護	庶務課
3	これはどこの課へいけばいいの？	庶務課
4	広報紙の作り方	庶務課
5	中野市総合計画	政策情報課
6	中野市の台所状況	財政課
7	市税のあらまし	税務課
8	いつまでも健康でいたい	健康づくり課
9	子どもの健康づくり	健康づくり課
10	介護保険制度について	高齢者支援課
11	高齢者のための保健福祉サービス	高齢者支援課
12	はじめましょう！介護予防 守りましょう！自分の権利	高齢者支援課

13	国民健康保険の仕組み	福祉課
14	障がいのある方への総合支援	福祉課
15	後期高齢者医療制度のしくみ	福祉課
16	子育て支援	子育て課・保育課
17	健全な青少年の育成	子育て課
18	ごみと資源物の正しい分け方	環境課
19	中野市の文化芸術活動	文化スポーツ振興課
20	スポーツで育む豊かな時間	文化スポーツ振興課
21	交通事故ゼロをめざそう	市民課
22	悪質商法・特殊詐欺にあわないために	市民課
23	認可地縁団体について	市民協働推進室
24	差別のない明るいまちづくり	人権・男女共同参画課
25	男女共同参画について	人権・男女共同参画課
26	中野市の農業の概要	農政課
27	森林のもつ役割について	農政課
28	観光施設と観光宣伝	営業推進課
29	中心市街地のまちづくり	営業推進課
30	中野市内の道路と河川	道路河川課
31	中野市の公園づくり	都市計画課
32	中野市の街路事業	都市計画課
33	うるおいのあるまち並み景観づくり	都市計画課
34	花のまちづくり	都市計画課
35	下水道のあらまし	上下水道課
36	水道事業について	上下水道課
37	普通救命講習会	消防課
38	防火講話	消防課
39	教育委員会の仕事	学校教育課
40	学ぶための援助制度	学校教育課
41	学校給食と子どもの健康	学校給食センター
42	生涯学習って何だろう？	生涯学習課
43	子どもたちに本の楽しさを	生涯学習課・図書館
44	中野市の文化財	生涯学習課・博物館
45	中野市をもっと知ろう	博物館
46	公民館の仕事と分館活動	中央公民館
47	図書館のしごと	図書館
48	子どもと楽しむ読み聞かせ	図書館
49	議会の仕組みと役割	議会事務局
50	農地の売買・賃借はどうすればいいの	農業委員会事務局
51	農業者のための年金制度について	農業委員会事務局
52	農家の家族経営協定とは	農業委員会事務局
53	選挙制度と選挙管理委員会の仕事	選挙管理委員会事務局
54	監査委員の役割	監査委員事務局
55	固定資産評価審査委員会の役割	固定資産評価委員会

文化財

-文化財保護・保存管理事業-

中野市の文化的・歴史的遺産や天然記念物等の文化財を保存・活用し、永く後世に継承していくための事業を実施する。

1 文化財の保存・活用

(1) 文化財の指定

文化財の基礎調査を進め、貴重な文化的・歴史的遺産を指定し、保存・管理に努める。

(2) 文化財の保全活動

ボランティア団体による国指定文化財「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」の環境整備活動への支援等、文化財の保全整備を図る。

(3) (仮称)山田家資料館の調査研究及び活用

山田家資料館に所蔵する古文書・美術品等の資料は、中野市や周辺地域の歴史・文化を知るうえで貴重な資料であるため、この資料の調査研究を進めるとともに、建物や古文書を一般に公開し、活用を図る。

2 埋蔵文化財発掘調査事業

(1) 開発行為にともなう調査

埋蔵文化財包蔵地内の開発行為にともなう事業の指導や調査を実施する。

(2) 柳沢遺跡範囲確認調査

東日本で初めて銅戈・銅鐸が同時発見された柳沢遺跡について、遺跡周辺域の研究調査のための遺跡確認調査を実施する。

3 高遠山古墳整備事業

崩落部分の復旧等により県史跡「高遠山古墳」の保護・保存を図る。

-指定文化財件数-

(H27.3.31現在)

種 別	国	県	市	合 計
有形文化財	1 (重要文化財)	2 (県宝)	27	30
無形文化財	—	—	1 (工芸技術)	1
有形民俗文化財	—	—	5	5
無形民俗文化財	—	—	9	9
記念物	史 跡	1	6	13
	名 勝	—	—	—
	天然記念物	1	1	8
合 計	3	9	56	68

-指定文化財-

1 国指定文化財

指定年月日	名称（所在地）	種別	員数	所有者等	概要
昭和28. 11. 14	十三崖のチョウゲンボウ繁殖地 （大字深沢、大字竹原）	天然記念物	2. 5ha	中野市ほか	習性として集団で営巣しないといわれているハヤブサの仲間であるチョウゲンボウが十三崖では集団営巣している。
平成19. 2. 6	高梨氏館跡 （大字中野）	史 跡	1. 2ha	中野市	戦国時代の有力国人領主高梨氏の居館跡。東西約130m、南北約100mの方形館であり、周囲には土塁と堀をめぐらしている。建物跡や水路跡をはじめ、庭園跡も確認されている。中世における庭園遺構としては県内で唯一の事例である。
平成26. 8. 21	柳沢遺跡出土品 （中野市立博物館）	重要文化財	212点	中野市	弥生時代集落遺跡からの出土品一括。東日本では初めて青銅器埋納坑が発見され、複数の銅戈、銅鐙が土坑内に埋納された状態で出土した。遺跡からは、玉類やシカを線刻で描いた土器なども出土しており、弥生時代中期から後期における、集落・墓域・生産域・祭祀域が近接した当時の集落景観の様相を良く示している。

2 県指定文化財

指定年月日	名称（所在地）	種別	員数	所有者等	概要
昭和35. 2. 11	栗林遺跡 （大字栗林）	史 跡	7. 5ha	中野市ほか	弥生時代中期の大集落跡の遺跡。文様に縄文を使用した栗林式土器の標式遺跡である。
39. 11. 26	中野県庁跡(中野陣屋跡) （中央二丁目）	史 跡	1. 0ha	中野市ほか	江戸時代には北信濃における幕府領を支配した中野陣屋が置かれた。中野陣屋は明治3年9月から中野県庁として使用されたが、同年12月の中野騒動により建物をすべて焼失した。
44. 7. 3	高梨氏城跡(山城) （大字中野）	史 跡	山城 11. 1 ha	中野市ほか	中野に居館(高梨氏館跡)を構えた高梨氏が背後の山上(鴨ヶ嶽)に築いた詰城(山城)である。居館との標高差は約300mある。北から大きく3つのブロックに分けられ、いずれも堀切、段郭、帯郭、土塁などに囲まれている。
52. 11. 17	鉦鼓 （中野市立博物館）	県 宝	1 個	中野市	大正5年に下高井郡山ノ内町横倉から発掘され、昭和7年に中野町立中野小学校に寄贈された。昭和16年には文部省が重要美術品として認定したが、昭和25年の文化財保護法の制定により認定は解除されている。胴部分に「観阿弥陀仏 延慶元年十一月一日」の銘文が刻まれている。延慶元年は鎌倉時代末期の1308年。
60. 7. 29	七瀬双子塚古墳 （大字七瀬）	史 跡	1 基	七瀬区	県内最北に位置する古墳時代中期の前方後円墳である。

平成9. 8. 14	内堀館跡 (大字上今井)	史 跡	0.5ha	個人	三方に水堀をめぐらし、その内側に土塁を築いて防御を固め、その中に住居を配置するという、中世豪族の方形館跡である。内堀館跡は千曲川に面した側に堀や土塁がなく三方にだけ防御施設をめぐらすという、いわば馬蹄形の居館跡であり、これは北信濃に特有な築造方法ともいわれている。
17. 3. 28	高遠山古墳 (大字新野)	史 跡	1基	中野市ほか	東日本最古級の前方後円墳。古墳時代前期。全長約51.2m。粘土槨、竪穴式石室の二つの埋葬施設を有する。平成9年と平成11年に発掘調査を実施した。
19. 1. 11	八生のカヤ (大字桜沢)	天然記念物	1本	個人	イチイ科カヤ属の常緑高木で雌雄異株(当木は雌株)、樹高20m、胸高幹囲5.88m、八枝に分かれる。樹齢は500年以上といわれる。
19. 5. 1	高遠山古墳出土品 (中野市立博物館)	県 宝	38点	中野市	平成17年に県史跡指定を受けた高遠山古墳の埋葬施設から出土した副葬品。古墳は後世に盗掘されたりすることが多いが、高遠山古墳からは築造当時のまま副葬品が出土しており、埋葬当初の様子が残されている点で大変希少である。高遠山古墳は東日本の古墳時代形成を考えるうえで非常に重要な古墳である。

3 市指定文化財

指定年月日	名称(所在地)	種別	員数	所有者等	概 要
昭和47. 7. 27	弥生式土器 (中野市立博物館)	有形文化財	2点	個人	2点とも安源寺遺跡から出土した。弥生時代の注口土器と弥生時代の後期に伊勢湾沿岸地方から移入されたと考えられる壺である。
47. 8. 28	七ツ鉢(大字赤岩)	有形民俗文化財	1基	高杜神社	直径2m以上の安山岩の巨岩に11個のすり鉢状の穴があいている。地元の言い伝えによれば、江戸時代の開拓の際に地中から掘り出された。明治期以降、赤岩では養蚕が盛んとなり、七ツ鉢の近くに蚕神の祠がつけられ、七ツ鉢はその御神体とされるようになった。いわば豊蚕を願う信仰の対象である。
47. 12. 25	小内八幡神社青獅子 (大字安源寺)	無形民俗文化財		小内八幡神社 芸能保存会	親子獅子で煙硝筒から火を噴いて舞う興行的、曲芸的な要素が入った獅子神楽である。
47. 12. 25	日和山神社鬼獅子 (大字草間)	無形民俗文化財		日和山神社 芸能保存会	潮来甚句の囃子で鬼が獅子と舞い争う豪快な獅子神楽である。
48. 8. 22	上今井諏訪社太々神楽 (大字上今井)	無形民俗文化財		上今井伶人会	出雲系神楽とされる大和舞と近代神楽である吉備楽が併せて継承されているのが特徴。県選択無形民俗文化財にも選択されている。
51. 4. 1	屋台(囃子を含む) (大字上今井)	有形文化財	1台	上今井諏訪社 氏子会	構造は踊り場と楽屋に分かれ、踊り場は現在使われていないが、楽屋では、9人が同乗し2曲を演奏する。

53. 3. 23	社家片山文書 (大字安源寺)	有形文化財	1巻 及1 通	個人	天正10年(1582)の高梨頼親寄進状や 慶長8年(1603)の京都吉田家神道裁 許状など。
54. 10. 23	蟹沢古墳 (大字桜沢)	史跡	1基	個人	市内唯一の前方後方墳。古墳時代前 期。全長45m、後方部一辺25m、前 方部一辺20m、高さ4.5m。
57. 11. 1	替佐城跡 (大字豊津)	史跡	0.3ha	中野市ほか	替佐城は戦国期に武田信玄によって 改築され、武田方の前衛として、上 杉方の前衛飯山城と対峙したと考え られる。主郭、二の郭、三の郭と階 段状に並んだ三つの郭が基本となっ ており、そこに付属する腰郭があ る。三つの郭は底の平らな堀切りで 仕切られている。
57. 11. 1	永江諏訪神社巨樹 (大字永江)	天然記念物	杉4 本	永江諏訪神社 氏子総代	杉の御神木。社殿の前1本は樹高 34.6m、周囲4.2mであり、本殿の裏 には樹高32.2m、周囲4.1mのもの2本 と樹高31.3m、周囲4.9mのもの1本が ある。
58. 4. 28	七瀬の五輪塔 (大字七瀬)	有形民俗 文化財	1基	七瀬区	中野地方最大で高さが119cmある。 五輪塔は本来中世の供養塔・墓標で あるが、七瀬の五輪塔は昔から病氣 平癒や縁切、万民救済地蔵等の民間 信仰の対象とされてきた。
58. 4. 28	林畔1号古墳 (大字田麦)	史跡	1基	中野市	盛土円墳(式)。高さ4m、径23m、 合掌形石室。昭和20年(1945)発掘。
58. 4. 28	山の神古墳 (大字厚貝)	史跡	1基	個人	載頭円錐形古墳。高さ4m、径23 m。昭和23年(1948)発掘。
58. 4. 28	柳沢のマユミ (大字柳沢)	天然記念物	1本	個人	ニシキギ科の雌雄異株の落葉低木 (当木は雄株)、樹高8m、胸高幹囲 2.42m。
59. 5. 29	赤岩の宣澄踊り (大字赤岩)	無形民俗 文化財		高社講	地域性に富んだ「願踊り」、「盆じゃ もの」であり、「烏踊り」などの民謡 や念仏踊りとの係わりからも貴重な 無形民俗文化財である。
59. 5. 29	柳沢のエドヒガン (大字柳沢)	天然記念物	1本	柳沢区	バラ科サクラ属の落葉高木、市内の サクラの中では1番の古木、巨木で 樹高約20m、胸高幹囲4.48m。

59. 5. 29	建応寺跡 (大字間山)	史 跡	0.7ha	個人	標高700m前後の山中の沢沿いに造成された平坦面がいくつもあり、建物の礎石等を残す。昭和53年と54年に一部が発掘調査されている。発見された遺物は平安時代末期から室町・戦国時代頃のもの为主であった。平安時代後半期に創建され、山中深くに立地する寺院跡は、荘園の成立や修験道などの山岳信仰に関わって創建されたと考えられており、間山地区に残る建応寺跡は中世以前の歴史資料として重要である。
60. 4. 26	中野小学校旧西校舎 (大字一本木)	有形文化財	1棟	中野市	明治中期の学校建築の形態を読み取れる保存例として希少といえる。昭和59年2月に現在地に移築された。
60. 4. 26	金鑑山古墳 (大字新野)	史 跡	1基	松山寺	古墳時代中期の円墳。高さ2.6m、径17m。盛土墳で葺石が確認されている。合掌形石室をもち、大正14年の発掘では殊文鏡・五鈴鏡、勾玉・管玉等の装身具、直刀・鉾・鉄鏃等の武器、工具や馬具、土師器や須恵器などが多数出土した。現在これらの出土品は東京国立博物館に収蔵されている。
60. 4. 26	如法寺のイチョウ (大字中野)	天然記念物	1本	如法寺	イチョウ科の雌雄異株(当木は雄株)の落葉高木。樹高25m、胸高幹囲6.14m、推定樹齢は約500年。乳神信仰の対象にもなっている、市内最大のイチョウである。
61. 5. 1	金井の延宝水論裁許状 (大字金井)	有形文化財	1通	金井区	近世的な水利権の性格を決定する契機となった歴史的に貴重な史料。
61. 5. 1	ナウマン象の臼歯 (中野市立博物館)	有形文化財	2個	中野市	昭和46年、東山住宅団地造成工事中に発見されたナウマン象の歯の化石である。ナウマン象は旧石器時代に栄えた絶滅したゾウの1種で中国から日本にかけての温帯地域に生息していた。
62. 6. 3	算額 (大字田上)	有形文化財	2面	観音寺	文化6年7月に当時の計見村(現木島平村)の和算家とその門人が田上の観音寺へ奉納したものである。当市にはこの2面のみが存在する。
62. 6. 3	間山の双立道祖神像 (大字間山)	有形民俗 文化財	1基	間山区 丸山組・岸梨組	中高地区では双立道祖神像の数が少なく、北信では珍しい逸品である。高さ55cm、幅33cm、安山岩造。
62. 6. 3	新保豊田神社のクヌギ (大字新保)	天然記念物	1本	新保豊田神社	ブナ科カシワ属の落葉高木。樹高30m、胸高幹囲3.89mの巨木。
63. 6. 1	振文鏡 (大字更科)	有形文化財	1面	高井舟着神社	青銅製、径11.2cm、厚3mm、重量150g。昭和22年(1947)、姥懐山古墳から出土。古墳時代の中野地域を知る貴重な資料。
63. 6. 1	高札 (大字三ツ和)	有形文化財	9面	北大熊区	江戸後期から明治初期の法令伝達を知ることができる資料。

63. 6. 1	餅かえ行事 (大字三ツ和)	無形民俗 文化財		小沼区	約400年前から続くといわれる全村行事。県内でも餅かえ行事を行っているところは少なく、民俗学的にも貴重な無形民俗文化財といえる。
平成元. 5. 31	土偶 (中野市立博物館)	有形文化財	1 体	中野市	昭和57年、大俣の姥ヶ沢遺跡(縄文時代中期前半の遺跡)から発見された。
4. 4. 30	小内八幡神社本殿 (大字安源寺)	有形文化財	1 棟	小内八幡神社	西向きの間社流造の江戸時代前期の建築物で装飾、彫刻等は多様な題材で、芸術性の高い資料。
4. 4. 30	赤岩の太々神楽 (大字赤岩)	無形民俗 文化財		高社講	鈴神楽の舞など11種の神楽が演じられる。県内でも最近では太々神楽を祭礼で奉納することは少なくなっており、貴重である。赤岩の太々神楽は神への奉納と人々の娯楽の2つの要素をもつ神事芸能である。
5. 4. 30	常楽寺文書 (大字中野)	有形文化財	2 通	常楽寺	天正11年(1583)11月、上杉景勝が円慶寺に対して与えた朱印状及び判物。
5. 4. 30	新野の式三番叟 (大字新野)	無形民俗 文化財		式三番保存会	翁・千歳・尉の三者の一連の舞。舞、囃子等は古いものを正式に伝承しており、貴重な無形民俗文化財。
5. 4. 30	小内八幡神社社叢 (大字安源寺)	天然記念物		小内八幡神社	長さ200m余に及ぶ参道の両側のケヤキ15本をはじめとする並木と、境内のスギの立木はこの神社の歴史を物語るものである。
7. 5. 1	西条村新田開発免許状 (大字西条)	有形文化財	1 通	個人	元和6年(1620)12月19日、間山村勘右衛門宛福島正則の西条村内荒地の開発免許状。
7. 5. 1	常楽寺本堂の欄間 (大字中野)	有形文化財	9 面	常楽寺	安政5年(1858)から万延2年(1861)にかけて立川内匠正源富種により制作された欄間彫刻9面。
9. 6. 3	間長瀬新田年貢・諸役免許状 (大字間長瀬)	有形文化財	1 通	個人	寛永4年(1627)、間山村の源右衛門は間長瀬村内での新田開発の功績を認められ、幕府代官設楽長兵衛能業等より、屋敷や田の年貢、年貢に関わる役目の免除を許されている。本状はそれを認可したことを示す免許状である。
9. 6. 3	松川の川崎踊り (大字中野)	無形民俗 文化財		松川川崎踊り 保存会	松川の川崎踊り元唄は、伊勢川崎で盆踊り唄として歌われ踊られていた川崎音頭であるとされている。川崎音頭はのちに盆唄から座敷唄に変化し、伊勢音頭とよばれるようになって全国各地に広まった。松川の川崎踊りは、この伊勢音頭をもとに、地元の歴史や民話等を加えて伝承されてきたものである。
11. 5. 7	栗林村大久保新田開発免許状 (大字栗林)	有形文化財	1 通	個人	万治元年(1658)12月5日、栗林村与右衛門宛飯山藩家臣栗津喜左衛門の栗林村大久保新田(牧山)の開発免許状。

11. 5. 7	大俣の水神祭 (大字大俣)	無形民俗 文化財		大俣区	大俣は昔から水に恵まれず、江戸時代には耕地のすべてが畑地で「皆畑村」と呼ばれた。大俣は水に恵まれない反面、水害に常に苦しめられてきたため、雨乞いと水除けの祈願のほかに、水難者の供養・精霊送りの要素も加わった水神祭が連綿と続けられている。
11. 9. 28	高井大富神社の俳額 (大字大俣)	有形文化財	1 額	大俣区	小林一茶が選者として関わった俳額。選者は一茶のほか大島完来、雪下庵麦太の3人で、42句が掲額されている。掲額の年月日は、文化5年(1808)戊辰9月吉日、と記されている。この俳額は現在確認されているものの中で、一茶が選者として関わったものとしては最も早い時期のものである。
12. 1. 04	上今井諏訪社本殿 (大字上今井)	有形文化財	1 棟	上今井諏訪社 氏子総代	木造一間社流れ造り、柿葺きの社殿で、装飾等は個性的で18世紀中期の特徴を持つ。
14. 3. 1	埋納銭及び埋納銭容器<※内容は以下のとおり>	有形文化財			珠洲焼の甕や木箱に納められて地中に埋められた宋銭や唐・明銭。容器や銭種から、埋納時期の多くは室町時代と推定されている。埋められた目的には諸説があるものの、中野は全国的に見ても、大量の埋納銭が確認されている地域である。大量の一括埋納銭は当時の中野地域の流通や経済などを考えるうえでも重要な資料である。
	埋納銭 (中野市立博物館)		約7万枚	中野市	
	埋納銭容器 1 (大字西条)		1 箇	個人	
	埋納銭容器 2 (大字岩船)		1 箇	個人	
	埋納銭容器 3 (中野市立博物館)		1 箇	中野市	
	埋納銭容器 4 (中野市立博物館)		1 箇	中野市	
14. 3. 1	中野町製糸場水車機械略図 (中野市立博物館)	有形文化財	1 幅	中野市	松川村(中野市松川)出身の画家、関長年の代表作といわれているもので、当時県下第1位の規模を誇った中野製糸場の様子が描かれている。明治6年(1873)の作。当市の明治初年の歴史を知るうえでも貴重な資料である。
14. 3. 1	如法寺観音堂 (大字中野)	有形文化財	1 棟	如法寺	真言宗智山派の寺院である如法寺の建物。如法寺は天長3年(826)に創立されたという伝承がある。寺院の堂宇はその後の兵火等により焼失、再建を繰り返したようである。この観音堂は、天保7年(1836)に造営されたとの伝承がある。

14. 3. 1	如法寺弘法堂 (大字中野)	有形文化財	1棟	如法寺	如法寺観音堂と同じく如法寺の建物である。建築様式から17世紀後期の建立と推定され、如法寺の中でも古い御堂といえる。
14. 3. 1	高井大富神社のエノキ (大字大俣)	天然記念物	1本	大俣区	ニレ科エノキ属の落葉高木。樹高18m、胸高幹囲3.39m。市内で最も太い木である。幹の途中から太い枝が3本鼎立し独特な樹形をしている。
15. 3. 31	大草稻荷 (大字江部)	有形文化財	1基	西江部区	西江部村は寛保2年(1742)の大洪水によって多くの田畑が荒地と化した。しかし、年貢はそのままとされ、村民は年貢を畑並みに軽減してほしいと嘆願するが、聞き入れられなかった。洪水から70年以上も経った文化12年(1815)、大草政郷が中野代官となり、村民の願いを聞き入れ、年貢を軽減した。西江部村の人々はこれを大変喜び、稻荷社を造り、永くその徳をたたえた。大草稻荷の碑文は山田庄左衛門(松斎)が、村の要望により考案したものである。
15. 3. 31	山田松斎資料一括 (大字江部)	有形文化財	一式 243件 2311点	中野市	江戸時代の豪農である第7代山田庄左衛門(松斎)は、江戸文人達との交流、北信地方の文化の向上、村民の教育等に尽した人物である。庄左衛門の資料は当市の江戸時代後期の文化を知るうえで重要である。
16. 3. 31	綿貫家文書一括 (中野市立図書館)	有形文化財	一式 998点	個人	綿貫家はかつて中野代官所の郡中代や中野村役人を務めている。本史料群は当市の近世・近代の歴史を知るうえで重要である。
16. 3. 31	盛隆寺のイチイ (大字間山)	天然記念物	1本	盛隆寺	イチイ科イチイ属の常緑高木。胸高幹囲4.01m。胸高幹囲が4mを超えても衰えを見せない大木である。
17. 1. 28	中野土人形(中野人形) (大字一本木)	無形文化財(工芸技術)	1名	奈良久雄 (工芸技術保持者)	伏見系統に属すると解されている奈良家の土雛は、江戸時代後期の文化の頃(約200年前)に製法を習い作ったのが始まりとされ、現在もその製作技術が継承されている。
17. 1. 28	白井家文書一括 (中央二丁目)	有形文化財	一式 460点	個人	白井家は代々名主を務め、一時期は中野代官所の郡中代を務めている。明治初期には中野町の戸長を務めた。本史料群は当市の近世・近代の歴史を知るうえで重要である。

20. 8. 1	釜上地蔵 (大字桜沢)	有形民俗 文化財	1基	桜沢区	総高105cmの石造の地蔵尊で、像形は丸彫坐像。正確な造立年代、作者、趣意等は不明であるが、桜沢区の言い伝え等から、コロリ(コレラ)による犠牲者を葬った供養地蔵であることがうかがえる。釜上地蔵尊の縁日が毎年9月24日にあり、桜沢区の当番地区(全部で4地区)が1年ごとに交代で縁日を行っている。信仰・祭りの姿に非常に特色の見られる地蔵尊である。
20. 8. 1	北ムラのお地蔵さん (大字上今井)	有形民俗 文化財	1基	個人	総高120cmの石造の地蔵尊で、丸彫の合掌形立像である。背面の銘文から寛保2年(1742)の大洪水による犠牲者を弔うため、「袖山氏」という人物が立てたものであることがわかる。寛保2年の大洪水は千曲川流域では「戌の満水」と呼ばれ、多大な被害を各地にもたらした歴史的大洪水であり、その被害の大きさは今に至るまで、各地に伝承や慰霊碑などで伝えられている。「戌の満水」という歴史的事実を記録した地蔵尊が中野市に残っていることは大変貴重である。

-遺跡調査状況-

年 度	調 査 遺 跡 名	所 在 地
昭和38	茶臼峰大久保古窯址(1次)	草 間
39	〃 (2次)	〃
40	安源寺遺跡(分布調査)	安 源 寺
	栗林遺跡(3次)	栗 林
41	安源寺遺跡(本調査)	安 源 寺
	姥懐遺跡(東山団地造成)	更 科
42	〃 (古墳分布調査)	〃
43	〃 (〃)	〃
	〃 (本調査)	〃
43・44	袖山円墳状遺跡	七 瀬
44	新井大口フ遺跡	新 井
	立ヶ花表山遺跡	立 ヶ 花
	栗林遺跡(分布調査)	栗 林
45	草間茶臼峰古窯址	草 間
	栗林遺跡(分布調査)	栗 林
46	壁田宮下遺跡	壁 田
	小田中東田遺跡	小 田 中
50	草間工場団地造成地内窯跡緊急分布調査	草 間
	七瀬前山古墳	七 瀬
51	新井大口フ遺跡分布調査	新 井
	安源寺遺跡発掘調査(3次)	安 源 寺
52	神宮寺遺跡緊急分布調査	赤 岩
	栗林遺跡(緊急確認調査)	栗 林
	間山建応寺遺跡確認調査	間 山
	安源寺遺跡緊急分布調査	安 源 寺
53	宮前遺跡周辺緊急分布調査	安 田
	東池田古窯址群範囲確認調査	立 ヶ 花
	間山建応寺跡発掘調査(1次)	間 山
54	岸梨遺跡緊急分布調査	〃
	栗林遺跡発掘調査	栗 林
	間山建応寺跡発掘調査(2次)	間 山
55	立ヶ花城館跡	立 ヶ 花
	立ヶ花表遺跡	〃
	上の山窯址	草 間
	栗林遺跡発掘調査(4次)	栗 林
56	田上寺の前遺跡	田 上
	浜津ヶ池遺跡緊急分布調査	栗 林
56	新野上東遺跡緊急分布調査	新 野
	立ヶ花城跡等(送電線鉄塔建設事業)	立 ヶ 花
	栗林遺跡発掘調査(5次)	栗 林
57	〃 (6次)	〃
	田上寺の前遺跡(倭小学校改築工事)	田 上
	間山建応寺跡発掘調査(3次)	間 山
	市道立ヶ花16号線改良工事に伴う調査	立 ヶ 花
	中電高丘変電所建設に伴う分布確認調査	草 間
58	姥ヶ沢遺跡発掘調査	大 俣
	栗林遺跡発掘調査(7次)	栗 林
	草間大久保古窯址確認調査	草 間
	新野上東遺跡(日野小学校グラウンド造成)	新 野
	田上寺の前遺跡(倭小学校グラウンド造成)	田 上
	大俣宮反遺跡(試掘)	大 俣

59	間山遺跡(県道拡幅) 七瀬遺跡(転作) 中原窯址(転作)	間山 七瀬 草間
60	大俣宮反遺跡発掘調査(堤防建設工事) 立ヶ花遺跡・桜沢4号古墳(鉄塔建設工事) 安源寺遺跡(住宅建築)	大俣 立ヶ花・桜 安源寺
61	田上寺の前遺跡(農村モデル事業) 安源寺遺跡(宅地造成) 〃(畑地かんがい事業) 七瀬2、6号古墳(住宅団地造成事業) 田麦中畝3、4、5号古墳(住宅団地造成事業)	田上寺 安源寺 〃 七瀬 田麦
62	高梨氏城跡(確認調査) 七瀬5号古墳(住宅団地造成事業) 田麦中畝1、2号古墳(住宅団地造成事業) 高梨氏城跡発掘調査	高梨氏 七瀬 田麦
63	栗林、浜津ヶ池遺跡(畑地かんがい事業) 七瀬3、4号古墳(住宅団地造成事業) 高梨氏城跡発掘調査	栗林 七瀬 高梨氏
平成元	西条遺跡(区画整理事業) 安源寺遺跡(防火貯水槽建設) 立ヶ花遺跡(市道改良事業) 西条遺跡・岩船氏館跡(区画整理事業) 安源寺遺跡(西部公民館建設) 立ヶ花表山古窯址(畑地かんがい事業) 立ヶ花遺跡(橋梁整備事業) 風巻・桜沢遺跡(暗きょ排水事業) 草間城跡(住宅建築) 高梨氏城跡(公園整備事業) 安源寺居館跡(道路改良事業) 高梨氏城跡(公園整備事業) 立ヶ花遺跡(橋梁建設事業) 西条・岩船遺跡群(区画整理事業)	西条 安源寺 立ヶ花 西条・岩船 安源寺 立ヶ花 〃 安源寺・桜 草間 東町 安源寺 東町 立ヶ花 西条・岩船
2	桜沢遺跡(道路改良事業) 新野遺跡(道路改良事業) 栗林遺跡(道路改良事業) 間山遺跡(道路改良事業) 高梨氏城跡(公園整備事業) 京塚古墳(高速関連採土事業) 西山古墳(高速関連採土事業) 西条・岩船遺跡群(区画整理事業)	桜沢 新野 栗林 間山 高梨氏 京塚 西山 西条・岩船
3	栗林遺跡(道路改良事業) 間山遺跡(道路改良事業) 高梨氏城跡(公園整備事業) 西条・岩船遺跡群(区画整理事業) がまん淵遺跡(高速関連採土事業) 沢田鍋土遺跡(道路改良事業)	栗林 間山 高梨氏 西条・岩船 がまん淵 沢田鍋土
4	上の山遺跡(高速関連採土事業) がまん淵遺跡(高速関連採土事業) 清水山窯址(高速関連採土事業) 栗林遺跡(道路改良事業) 西条・岩船遺跡群(区画整理事業)	上の山 がまん淵 清水山 栗林 西条・岩船
5		草間 立ヶ花 草間 〃 立ヶ花 栗林 西条・岩船

6	沢田鍋土遺跡(市道高丘9号線新設工事) 安源寺遺跡(西部デイサービスセンター建設) 牛出城跡遺跡 栗林遺跡(道路改良事業) 高梨氏館跡東小口調査	立ヶ花 安源寺 立ヶ花 栗林 東町
7	西条・岩船遺跡群(区画整理事業) 安源寺遺跡(道路改良事業) 栗和田3号古墳 栗林遺跡(西部畑地総合開発事業) 西条・岩船遺跡群(区画整理事業)	西条・岩船 安源寺 栗和田 栗林 西条・岩船
8	牛出遺跡(千曲川築堤工事) 栗林遺跡(公共下水道事業高丘終末処理場建設) 牛出遺跡(千曲川築堤工事)	立ヶ花 栗林 立ヶ花
9	西条・岩船遺跡群(宅地造成) 上小田中遺跡(防火貯水槽建設) 牛出窯跡遺跡(道路改良事業) 牛出城跡遺跡(道路改良事業) 立ヶ花西原遺跡(店舗建設) 栗林遺跡(千曲川築堤工事) 高遠山古墳(宅地造成)	西条・岩船 小田中 立ヶ花 〃 立ヶ花 栗林 新野・更科
10	安源寺城跡遺跡(上水道貯水槽建設) 西条・岩船遺跡群(道路整備事業) 上小田中遺跡(宅地造成) 高梨氏館跡(公園整備事業) 栗林遺跡(千曲川築堤工事)	安源寺 西条・岩船 小田中 東町 栗林
11	〃 (〃) 高梨氏館跡(公園整備事業) 高遠山古墳(宅地造成)	〃 東町 新野・更科
12	栗林遺跡(千曲川築堤工事) 立ヶ花遺跡(道路改良事業)	栗林 立ヶ花
14	新野遺跡(真引川改修工事) 安源寺遺跡(デイサービスセンター建設工事)	新野 安源寺
15	東池田窯跡(道路改良工事) 安源寺遺跡(郵便局建設工事)	草間 安源寺
16	田上遺跡群(農道整備事業、試掘調査)	田上
17	茶臼峯窯跡(道路改良工事) 柳沢遺跡(千曲川築堤工事、試掘調査) 内堀館跡(道路拡幅)	草間 柳沢 上今井
18	茶臼峯窯跡(道路改良工事)	草間
19	大久保館跡(道路改良工事)	草間
21	吉田宮脇遺跡(道路改良工事)	吉田
22	柳沢遺跡(国庫補助事業による学術調査) 神宮寺下遺跡(道路改良工事) 新野遺跡(道路改良工事) 五里原遺跡・吉田宮脇遺跡(道路改良工事) 柳沢遺跡(国庫補助事業による学術調査)	柳沢 赤岩 新野 吉田 柳沢
23	笠倉遺跡(千曲川築堤工事)	豊津
24	笠倉遺跡(千曲川築堤工事) 風巻遺跡(北陸新幹線建設工事)	豊津 安源寺・草間
25	笠倉遺跡(千曲川築堤工事) 柳沢遺跡(国庫補助事業による学術調査)	豊津 柳沢
26	柳沢遺跡(国庫補助事業による学術調査) 西条東屋敷遺跡(店舗建設)	柳沢 西条

6 公民館

公 民 館

－ 平成 27 年度運営方針 －

(1) 中野市公民館の方向について

中野市の公民館は、県内の公民館とともに戦後いち早く先駆的な活動を展開し、日本の社会教育、生涯学習の歩みの中で、地域に根を張り暮らしに溶け込んだ公民館活動を行ってきた。

市内各地の地域づくりや、文化の伝承・創造、環境保全、地域に根ざした経済活動の活性化、介護、福祉、男女共同参画等の地域課題解決のため、そして市民の学びのニーズに応えていくなど公民館の活動は重要である。そのためにも市内各公民館が連携しあい、特性を發揮しながら運営の推進を図って来ている。

(2) 中野市公民館運営方針について

① 目標

- 地域に開かれた公民館を目指し、課題を求め・つどい・まなび合い、絆を結び・文化を創造する。
- 中野市各公民館の連携と独自性の発揮（4公民館と73分館は相補完の関係）

② 基本方針

- 特色ある文化資源の発見と再生・創造
- 教育・福祉・観光などの分野との連携
- 子どもたちの文化芸術活動や体験活動の推進と情報発信
- 人材の育成
- 公民館と分館活動の活性化

③ 力を入れていきたいこと

- なかの21市民講座の推進
- 中野市成人式の実施
- 市民ニーズに応えられる講座などの開催
 - ・地域学習講座
 - ・生きがいつくり講座
 - ・教養講座（文学講座他）
 - ・教育講座（家庭教育学級他）
 - ・シニア（高齢者）大学
 - ・文化講演会の開催等
 - ・子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう！」の開催
- 分館活動活性化と分館報発行等の支援
- 公民館活動の向上を目指す研修
- 社会教育関係団体育成及び活動の支援

(3)各公民館の主な事業

①中央公民館の主な事業

○公民館活動を推進するに必要な公民館全体の公民館活動の推進

- ・なかの21市民講座 ・中野市成人式 ・公民館運営審議会などの事務局
- ・国際交流への支援 ・総合文化祭（芸能祭・文化展） ・市民作品展
- ・子ども音楽講座
- ・市民書道展 ・公民館報「文化なかの」の発行
- ・優良公民館視察研修 ・子ども教室の実施など

○分館との連携調整に係ること

- ・非常勤主事会 ・分館長主事研修会 ・分館への交付金 ・分館報コンクール
- ・分館講座、高齢者人材活用支援、世代間交流事業

○市民のニーズに応えられる講座や学級の開設

- ・地域学習講座 ・生きがいつくり講座 ・教養講座 ・教育講座

②北部公民館の主な事業

○北部地域の話題や歴史・文化をテーマとした学習活動の推進

- ・家庭教育学級 ・親子体験教室 ・カルチャーセミナー
- ・生きがいつくり講座などの開設

○地域文化活動等への支援

- ・文化祭の開催

③西部公民館の主な事業

○いつでも誰でもを基本として子どもからシニアまで、気軽に寄って学習できる、行ってみたい公民館を推進。

- ・シニア大学・生きがいつくり講座・子ども地域づくり講座・家庭教育学級の開催
- ・地域文化活動等への支援
- ・文化祭、分館対抗球技大会などの開催

④豊田公民館の主な事業

○市民と生きがい、市民と市民、市民と活躍の場をつなぐ豊田地域のコーディネーターとしての公民館を実現

- ・サークル等の運営や自主事業に関する相談、情報提供、各種提案

○生きがいつくり・社会参加のきっかけとなる講座などの開設【市民と生きがい、市民と市民】

- ・高齢者学級 ・家庭教育学級 ・子ども体験教室 ・生きがいつくり ・教養講座
- ・文化講演会 などの開催

○住民同士の交流の推進【市民と活躍の場、市民と市民】

- ・文化祭の開催

－ 公民館及び分館 －

施設名	住所	構造	TEL	FAX
中央公民館	三好町一丁目4-27	鉄筋コンクリート造 3階建て	0269-22-2691	0269-26-2342
北部公民館	大字赤岩 1447	鉄骨被覆耐火造一 部2階建て	0269-26-0677	0269-26-2211
西部公民館 (西部文化センター)	大字安源寺 666-1	鉄骨造一部 2階建て	0269-23-1024	0269-38-1524
豊田公民館 (豊田文化センター)	大字豊津 2509	鉄筋コンクリート造 2階建て	0269-38-2922	0269-38-3499
豊田公民館永田地区館	大字永江 3751-1	鉄骨造 平屋建て	0269-38-2501	0269-38-3096

－ 各地区の分館名及び分館数 －

地区	数	分館名
中野	12	中町 西町 東町 松川 東松川 普代 栗和田 一本木 西条 上小田中 下小田中 東吉田
日野	5	間山 新野 高遠 更科 東山
延徳	6	桜沢 大熊 北大熊 篠井 新保 小沼
平野	8	東江部 西江部 岩船 吉田 片塩 七瀬 泉 長嶺
高丘	7	安源寺 栗林 牛出 立ヶ花 草間 日和 大俣
長丘	4	田麦 厚貝 壁田 古牧
平岡	9	新井 若宮 竹原 金井 南間長瀬 北間長瀬 東笠原 西笠原 長元坊
科野	3	赤岩 越 深沢
倭	5	柳沢 田上 岩井 岩井東 牧ノ入
豊田	14	上今井 替佐 笠倉 砦 奥手山 美沢 穴田 毛野川 南永江 北永江 西組 三俣 赤坂 豊田深沢
計	73	

- 各施設の面積と定員 -

1 中央公民館

階	室名	面積(m ²)	定員(人)	階	室名	面積(m ²)	定員(人)
一階	談話室	21.68	10	二階	会議室	41.83	24
	会議室	40.75	24		教室	78.60	50
	音楽室	70.92	50		料理実習室	70.92	40
	視聴覚教室	39.30	-		団体室	27.72	-
	児童室	39.30	24	三階	ホール	76.13	-
	展示コーナー	5.00	-		講堂 (1号)	381.60	300
	ホール	82.68	-		(190.80)	(150)	
			(2号)		(190.80)	(150)	
			(ステージ)	(77.69)	-		
			会議室	39.99	24		
			和室	47.57	24		

2 北部公民館

階	室名	面積(m ²)	定員(人)	階	室名	面積(m ²)	定員(人)
一階	図書室	70.75	24	二階	研修室 1	64.89	50
	会議室 1	53.08	35		研修室 2	41.58	35
	会議室 2	54.92	35		研修室 3	42.66	40
	視聴覚教室	72.98	50		料理教室	51.15	24
			講堂		498.00	300	

3 西部文化センター・西部公民館

階	室名	面積(m ²)	定員(人)	階	室名	面積(m ²)	定員(人)
一階	多目的ホール	465.22	300	二階	料理教室	68.98	25
	視聴覚室	51.73	25		研修室 1	43.98	50
	会議室 1	54.00	35		研修室 2	33.66	40
	会議室 2	45.00	30		研修室 3	40.39	50
	図書室	65.45	24		教養室	23.24	10

4 豊田文化センター・豊田公民館

階	室名	面積(m ²)	定員(人)	階	室名	面積(m ²)	定員(人)
一階	多目的ホール	433.9	507	二階	会議室1.2.3	146.7	80
	楽屋 1	19.4	-		図書室	110.0	36
	楽屋 2	19.4	-				
	大広間	125.2	120				
	101会議室	65.45	15				

5 豊田公民館永田地区館の施設面積

会議室 66.00m² (建物全体 560.57m²)

－ 事業計画 学級・講座等の開催 －

中央公民館

区 分	講座・学級名	説 明
なかの 21 市民講座	講座・講演会	21世紀のこれからを、我々はどのように生きていったらよいか、人間の根源的なところから問い深め、豊かな心を育み幸福に暮らせる地域づくりに資する。
地域学習	地域の歴史講座	中野市を中心とした地域の中から学習課題を掘り起こし学びあっていく。
	ふるさと歴史探訪	
	ほたる鑑賞会	
	しめなわづくり講習	
生きがい づくり	シニア大学 講座	家庭、社会生活をより豊かに営むことを願い、くらしの趣味的内容も含めて多様に講座を立ち上げ学び合っていく。
	シニア大学6クラブ活動	
	市民登山教室	
	料理教室	
	テーブルガーデニング	
	生活の中の書	
教養講座	源氏物語講座	21世紀、国際社会に通じる中野市民を目指して、基礎的な教養を多面的な領域から学び合っていく。
	万葉集講座	
	近代文学講座	
	情報活用サロン	
	初級英会話教室	
	中級英会話教室	
	年賀状作成講座	
	携帯電話教室	
	タブレット教室	
教育講座	子ども育成事業	子育て、家庭教育支援、平和学習を通して、次代を担う中野市の子どもたちの育成や平和の大切さを学び合っていく。
	子ども音楽講座	
	家庭教育学級	
	夏休み親子きり絵教室	
	郷土に伝わる味	
	親子の楽しい食育教室	
	平和学習講座	
文化祭	市民作品展	地域で活動している文化芸術芸能のグループ及び個人の学習成果を発表し合い、地域芸術文化の振興を図る。
	芸能祭	
	文化展	
	市民書道展	
支援事業	分館講座	文化学習活動推進に関わって分館・団体へ講師紹介等の支援事業
	高齢者人材活用	
	世代間交流	
	婦人のつどい	
	日本語教室	
	日本語指導研修	
	分館報づくり講習会	
主管事業	成人式	生涯学習のまちづくり推進のため、公民館が主管で実施する学習活動等の事業
	国際交流のイキ	
	公民館ギャラリー	
	館報を発行	

	分館報コンクール	
	分館長・主事研修	
	優良先進公民館視察	

北部公民館

講座・学級名	説 明
地域文化創造祭	地域の活性化及び文化活動振興のために、文化展、芸能発表等を行う。
子育ていきいきサロン	子育てに不安を感じている方や、地域の方々と子育ての喜びを共有しあえる講座を開設する。
子ども教室	自然体験、農業体験、郷土料理の実習を通じ、新たな気づきや発見、収穫の喜び等を培う講座を開設する。
生きがいつくり・地域づくり	市民の多様な学習要望に対応するために、一般教養や、生活学習講座を開設する。
カルチャーセミナー	中高年世代の生きがいつくりのための講座を開設する。

西部公民館

講座・学級名	説 明
地域文化創造祭	地域の活性化及び文化活動振興のために、文化展、芸能発表を行う。
家庭教育学級（すくのみ学級）	乳幼児を持つ親を対象に、正しい理解と、豊かな人間性をはぐくむ講座を開設する。
子ども教室	子どもたちの新たな気づきや発見等を培う講座を開設する。
生きがいつくり	市民の多様な学習要望に対応するため、一般教養、生活学習講座を開設する。
シニア大学	高齢者の生きがいつくりのための講座を開設する。
西部地区分館対抗球技大会	平野・高丘地区住民の親睦とスポーツ振興のため開催する。

豊田公民館

講座・学級名	説 明
高齢者学級	高齢者の健康づくりを通して、出かける機会や交流の時間をつくり、高齢者の社会参加を促す。
生きがいつくり・教養講座	豊かな人生の基本となるライフワークのきっかけづくりの講座として、広く趣味・生活に係る講座を開催する。
家庭教育学級	乳幼児とその親を対象に、親子間のスキンシップや親同士の交流を通じて、健全な子育て環境をはぐくむ講座を開設する。
チャレンジ子ども教室	自然体験、生活体験、社会体験を通じ、新たな気づきや発見、収穫の喜び等を培う講座を開設する。
文化祭	住民それぞれが持つ魅力と能力を持ち寄りあい発見しあい、ライフワークを通じて、市民同士をつなぐ市民自身の活躍の場として開催する。
文化講演会	地域づくりのため、住民が現代社会の問題について学習し、問題提起・問題解決に向けた実践につなげることを目的として開催する。

－ 沿革 －

中野市中央公民館の前身である下高井郡中野町公民館は、昭和 21 年 11 月 3 日に創立され、県下でも早期に活動をはじめた公民館で、翌年の昭和 22 年 9 月には県から、さらに昭和 23 年 11 月には文部大臣表彰をうけた伝統ある公民館である。昭和 29 年、町村合併による中野市誕生に際して 1 町 8 か村の公民館を合併して中野市公民館を設置し、中野町公民館の建物（大字中野 1862）をあて、旧村の公民館を支館として、各支所内(旧役場)に設置した。

昭和 37 年 4 月には、市役所の支所廃止にともない支館制度を廃止し、昭和 39 年 4 月にはすでに条例上分離されていた図書館を独立させた。同年 5 月に、旧中野市役所庁舎に移転して公民館活動を広げ、昭和 49 年 11 月 3 日には通算 2 度目の文部大臣表彰の栄に輝いた。

さらに昭和 50 年度から 2 か年にかけて中野市三好町一丁目 4-27 に新しい公民館を建設し、昭和 51 年 11 月 1 日に移転し中野市中央公民館と改称した。昭和 51 年 7 月からは、併設の中野市勤労青少年ホームと、さらに、昭和 61 年 4 月から中野市働く婦人の家と職員を併任させ有機的な運用を図っている。

また、地域の公民館活動を振興させるために、中学校区に 1 館の地区公民館を建設する構想で、昭和 62 年 4 月 1 日に北部公民館を、さらに平成 3 年 4 月 1 日に西部公民館（西部地区文化センター）をそれぞれ開館した。

平成 17 年 4 月 1 日に中野市・豊田村合併、新「中野市」の発足に伴い、豊田公民館及び豊田公民館永田地区館が加わり、新「中野市」4 中学校区すべてに地区公民館が設置されることとなった。また西部地区文化センターを西部文化センターに、旧豊田村村民会館を豊田文化センターに名称変更した。



中央公民館



北部公民館



西部公民館



豊田公民館

7 図書館

図 書 館

－ 事業計画 －

- 1 図書資料の収集、整理、貸出業務・レファレンスサービスの実施
- 2 魅力ある図書館づくりの推進
 - (1) 子ども読書週間
 - (2) 親子ふれあいセミナー(アニメ映画会等の開催)
 - (3) 創作教室
 - (4) 図書館まつり
 - (5) 文学講座
 - (6) 親子読書活動推進セミナー(講演会の開催)
 - (7) 子ども読書推進講座
 - (8) 中野市誌を読む会(毎月)
 - (9) としょかんプチ☆キネマ
 - (10) 平日開館時間を延長
 - (11) 祝日開館の実施
- 3 ブックスタート事業の推進
 - (1) 乳児7ヶ月検診時における絵本のプレゼント
 - (2) 乳幼児おはなし会の実施
 - (3) 0～2才向け絵本の紹介コーナーの設置
 - (4) 絵本の読み聞かせ出前事業
- 4 広報活動
 - (1) 図書館だより、新刊情報の発行
 - (2) 図書館ホームページの更新と運営
- 5 その他
 - (1) 幼・保育園、学校との連携
職場体験実施(中学校・高等学校)、図書館見学(幼・保育園、小学校)、
中野・下高井図書館協会(学校図書館)との情報交換、総合的学習支援
 - (2) ボランティアの育成援助
 - (3) 図書館ミニギャラリーの活用
市民の「趣味の会」の作品展示を行う
 - (4) データベース(国立国会図書館デジタルコレクション、信濃毎日新聞、法情報(第一法規))利用促進を図る

－ 蔵書数 －

(中野市立図書館)

平成 27 年 3 月 31 日現在

区 分	蔵書数(冊)	区 分	蔵書数(冊)	区 分	蔵書数(冊)
0 総 記	4,696	7 芸 術	12,430	0 押鐘文庫	1,308
1 哲学、宗教	7,024	8 言 語	2,514	K 加賀文庫	5,948
2 歴史、地理	11,718	9 文 学	22,023	T 点字図書	489
3 社会科学	22,766	F 日本の小説	21,970	NA 中山文庫	789
4 自然科学	10,186	B 文 庫	5,041		
5 技術、工学、工業	10,937	L 大活字本	1,657		
6 産 業	5,644	N 郷土資料	9,141		
		J 児 童 書	43,914	合 計	200,195

(分館) 平成 27 年 3 月 31 日現在

分 館	蔵書数(冊)
北部分館	7,367
西部分館	6,317
豊田分館	21,644



市立図書館

－ 視聴覚資料 －

平成 27 年 3 月 31 日現在

資 料 名	所 有 数
ビデオテープ	855
C D	1,199
DVD	335
L D	41
カセットテープ	412
A V その他	166
紙芝居	1,704
合 計	4,712

－ ボランティアグループの育成支援 －

1 市立図書館利用団体ともの会 (会員数 14 団体)

平成 25 年度に設立した「ともの会」へ、地域の読書推進事業の発展のための育成支援
加入団体名

朗読ボランティアの会せせらぎ

中野子どもの本研究会

中野点字友の会

人形劇サークル「明夢 (めいむ)」

図書館花の会

おはなし♡びっくりばこ

朗読の会ほおずき
 紙芝居研究会『一期一会』
 おはなし玉手箱DonDon
 おはなし研究会『道草』
 わらべの会
 日曜読書会
 信州中野子ども劇場
 おはなしネットワーク

- 施設の概要 -

施設名(所在地)	構造	延床面積	開館日 開館時間	休館日	電話番号 FAX 番号
中野市立図書館 (所在地) 西条 1000	鉄筋コンクリート 一部 2 階建て	2,699.64 m ² (敷地面積) 9,171.11 m ²	火～金曜日 9 時～19 時 土・日・祝日 9 時～17 時	毎週月曜日(祝 日を除く)、 図書資料整理日 (毎月最終金曜 日)、 12/29～1/3、 蔵書整理期間	TEL 0269-26-5841 FAX 0269-23-2885
北部分館 (所在地) 赤岩 1447 (北部公民館内)	鉄筋コンクリート 一部 2 階建て	70.75 m ² (1 階部分)	水曜日 13 時～17 時 土曜日 9 時～12 時	毎週水及び土曜 以外の曜日、 国民の祝日、 12/29～1/3、 蔵書整理期間	TEL 0269-26-0677 FAX 0269-26-0677
西部分館 (所在地) 安源寺 666-1 (西部公民館内)	鉄筋コンクリート 一部 2 階建て	65.45 m ² (1 階部分)	水曜日 13 時～17 時 土曜日 9 時～17 時	毎週水及び土曜 以外の曜日、 国民の祝日、 12/29～1/3、 蔵書整理期間	TEL 0269-23-1024 FAX 0269-23-1024
豊田分館 (所在地) 豊津 2509 (豊田公民館内)	鉄筋コンクリート 一部 2 階建て	100.00 m ² (2 階部分)	火～金曜日 9 時～18 時 土・日・祝日 9 時～17 時	毎週月曜日(祝 日を除く)、 図書資料整理日 (毎月最終金曜 日)、 12/29～1/3、 蔵書整理期間	TEL 0269-38-2922 FAX 0269-38-3499

8 博物館

博 物 館

－ 所在地 － 中野市大字片塩 1221



中野市立博物館

－ 施設の概要 －

- (1)敷地面積 8,192 m²
- (2)建築面積 1,803.02 m²
- (3)延床面積 2,007.87 m²
- (3)建設年度 平成2年度 (H3.3.15)
- (4)建物構造 鉄筋コンクリート (二階建て)
- (5)開 館 平成21年4/1 (展示室は5/1)
ふるさとの森文化公園創造館 (平成3年開館) を前身とし、中野市歴史民俗資料館と統合して開設した。
- (6)設置目的 中野市の自然、歴史、文化についての理解を深め、市民とともに成長し、市民が主人公となる博物館をめざす。
- (7)開館時間 3/1～11月末日 午前9時～午後5時
12/1～2月末日 午前10時～午後4時
- (8)プラネタリウム投影日
毎週土曜日・日曜日、祝祭日
- (9)休 館 毎週火曜 (祝祭日は開館)、年末年始 (12/29～1/3)
- (10)観 覧 料 展示室 一般200円 (160円)・高校生100円 (80円)・中学生以下無料
プラネタリウム 一般400円 (320円)・高校生200円 (160円)・中学生以下無料
※ () 内は団体料金 (20名以上)

－ 入館者数 －

(平成26年度実績)

展示室	プラネタリウム	研修室等	講座利用	合 計
3,312	5,218	333	1,674	10,537

－ 講座等の実施状況 － (平成26年度)

(1)講演会

- 6月15日 (仮称)山田家資料館特別講演会「近世近代における先進的な地方文化－中野市山田家資料に見る文化受容の在り方について－」 (講師:守屋正彦)
- 7月20日 「栗林式土器と柳沢遺跡」 (講師:石川日出志)
- 8月3日 「青銅器と柳沢遺跡」 (講師:工楽善通)
- 10月11日 「きのこを活用した健康生活」 (講師:宮澤紀子)
- 10月18日 「森を支えるきのこたち」 (講師:武田綾子)
- 3月15日 「“民”の発見－民具・民藝から民俗まで－」 (講師:佐野賢治)
「慶応期堤防組合惣代の活動」 (講師:山崎圭)

(2)学芸員の講座

①古文書講座 [講師：大滝学芸員] (全12回)

開催日	4/16	5/21	6/18	7/16	8/20	9/17	10/15	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18
-----	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------

②お蚕さんと中野—近代日本の蚕糸業から中野を見る [講師：中山学芸員] (全3回)

開催日	7/26	8/23	9/27
-----	------	------	------

③世界から見た十三崖のチョウゲンボウ [講師：本村学芸員] (全3回)

開催日	10/25	11/22	12/27
-----	-------	-------	-------

④原始のモノを見る [講師：土屋館長] (全1回)

開催日	12/27
-----	-------

⑤私たちのむらの明治維新 [講師：山田学芸員] (全3回)

開催日	1/24	2/28	3/28
-----	------	------	------

⑥明治時代の陶磁器—産業とのつながり— [講師：樋口学芸員] (全3回)

開催日	1/24	2/28	3/28
-----	------	------	------

(3)みんなで研究

①植物観察会 [講師：本村学芸員・樋口学芸員] (全10回)

開催日	5/10	6/7	7/5	8/2	9/6	10/4	12/6	1/10	2/7	3/7
-----	------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----

②野鳥観察会 [講師：本村学芸員・小林副館長] (全13回)

開催日	4/19	5/17	6/21	7/19	8/16	9/20	10/18	11/15	12/20	1/17	2/1	2/21	3/21
-----	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	------	-----	------	------

③豊田の石仏を調べよう [講師：中山学芸員・大滝学芸員] (全10回)

開催日	5/10	6/7	7/19	8/9	9/6	10/4	11/15	1/10	2/7	3/7
-----	------	-----	------	-----	-----	------	-------	------	-----	-----

(4)キッズアカデミー開催状況

回	月日	講座名
1	5月18日	こいのぼりをつくろう！ 中山幸洋(山田家資料館学芸員)
2	6月8日	チョウゲンボウの風車 本村健(当館学芸員)
3	7月27日	目指そう未来のロボコン戦士 本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
4	7月28日	目指そう未来のロボコン戦士 本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
5	7月30日	目指そう未来のロボコン戦士 本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
6	7月31日	目指そう未来のロボコン戦士 本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
7	8月1日	目指そう未来のロボコン戦士 本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
8	8月2日	江戸すごろく (特別講座：北大熊子供会) 大滝敦士(当館学芸員)
9	8月9日	ちょうちんをつくろう 中山幸洋(山田家資料館学芸員)
10	8月10日	ちょうちんをつくろう 中山幸洋(山田家資料館学芸員)
11	8月17日	すみながしで手づくりしちやおう！マイうちわ 樋口留美子(山田家資料館学芸員)
12	9月28日	鉄道の「？」～電車はどうしてぶつかからないの～ 本村健(当館学芸員) 田中幸一(電子工作支援サークルDC60Hz)
13	10月26日	新聞紙アートでキノコをつくろう 本村学芸員(当館学芸員) 佐藤いずみ(新聞紙アート講師)

14	11月30日	とかしてつくろう！カラフルロウソクづくり	樋口留美子(山田家資料館学芸員)
15	12月21日	小鳥たちにプレゼント バードケーキをつくろう	本村健(当館学芸員)
16	3月1日	縄文土器でたくほんのしおりづくり	土屋積(当館館長)
17	3月7日	マイコンオルガンをつくって音の不思議をさぐる	本村健(当館学芸員) 田中幸一(電子工作支援サークルDC60Hz)
18	3月26日	目指そう未来のロボコン戦士	本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
19	3月27日	目指そう未来のロボコン戦士	本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
20	3月28日	目指そう未来のロボコン戦士	本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
21	3月29日	目指そう未来のロボコン戦士	本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)
22	3月30日	目指そう未来のロボコン戦士	本村健(当館学芸員) 山岸恒夫(新技術振興会)

(5)陣屋カフェ講座(中野陣屋・県庁記念館)

- ①平成26年11月22日 中野にたたずむ石神・石仏 [講師：中山学芸員]
- ②平成26年11月23日 古文書を読むにあたって [講師：大滝学芸員]
- ③平成26年11月29日 日本のチョウゲンボウは群れる、なぜだ！ [講師：本村学芸員]
- ④平成26年11月30日 原始のモノを見る [講師：土屋館長]
- ⑤平成26年12月6日 幕末の中野町場に暮らす人々 [講師：山田学芸員]
- ⑥平成26年12月7日 山田家収蔵資料 眞葛焼「色絵兎貼付灰皿」を見る [講師：樋口学芸員]

(6)ふるさとレポート発表会(平成27年3月15日 中央公民館)

- 日本におけるチョウゲンボウ集団営巣地の地理的特性 [講師：本村学芸員]
- 天然記念物の巨樹めぐり [講師：みんなで研究コース植物観察会参加者]
- 柳沢遺跡の縄文時代—縄文後期初頭を中心に— [講師：生涯学習課・中島庄一]
- 天神掛軸からわかること—掛軸の流通について— [講師：中山学芸員]
- 絹が支えた地域の近代化—(仮称)山田家資料館特別公開を通して見えたこと— [講師：山田学芸員]
- 中野市域における善光寺地震の被害状況 [講師：大滝学芸員]
- 千曲川水害と延徳耕地村々3—宝暦期砂川堤—一件江戸訴訟— [講師：中央大学大学院文学研究科・北村厚介]

(7)平成26年度プラネタリウム投影プログラム

- 平成26年4月5日～8月31日 『宇宙はじまりの物語』
- 平成26年4月5日～平成27年3月29日 『ワンピース プラネタリウム』 『やさいのようせい』
- 平成26年9月6日～11月30日 『よもやま学園天文部 地球・月・太陽、身近な天体たち』
- 平成26年12月6日～平成27年3月29日 『オーロラを見た恐竜たち』